

指宿まるごと博物館

# 指宿文化遺産図鑑【第3巻】

～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～



指宿まるごと  
博物館  
実行委員会



平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金  
(文化遺産を活かした地域活性化事業)

## 目 次

C O N T E N T S

郷 土  
芸 能

チョイノチョイ（小牧地区）	6
小牧四ッ竹踊り（小牧地区）	12
岩本棒踊り（岩本地区）	18
福元棒踊り（山川福元区）	24
山川漁り節（山川福元区）	30
井手方棒踊り（山川成川区井手方集落）	36
成川そば切り踊り（山川成川区）	42
川尻棒踊り・鎌踊り（開聞川尻区）	50
開聞龍宮太鼓（開聞地区）	56
入野物袋琉球人踊り（開聞入野・物袋集落）	62
新西方棒踊り（新西方地区）	68
士官節（新西方地区細田西集落）	74
中川ごちょう踊り（西方中川集落）	80
相撲甚句（西方下吹越集落）	88
大山棒踊り（山川大山区）	96
大山琉球人傘踊り（山川大山区）	102
小川区棒踊り（山川小川区）	108

## 伝統行事

亥の日の石突き（十二町片野田集落）	114
イシナト（西方尾掛集落）	120
ダセチツ（山川利永区）	126
メンドン（山川利永区）	130
十五夜綱引き（山川大山区）	134
成川南方神社神舞（山川成川区）	140

## 動画で見てみよう！

踊りや行事の様子を動画でご覧になれます。  
[https://www.youtube.com/channel/UCX56Ziyy8WI5Vcvuk3\\_RB8w](https://www.youtube.com/channel/UCX56Ziyy8WI5Vcvuk3_RB8w)



## 有形文化財

湊川橋	162
松尾城跡	162
鳥越堀切・決湖碑	162
菅山の方柱板碑（仮屋）	163
方柱四方梵字	163
木造聖観音立像三体	163
長勝院址石造物（快伝銘五輪塔・方柱板碑・石造如来形坐像）	163
吉永のモイヤマ	164
松原田觀音寺跡石塔群	164
入野原石塔群	164
上仙田東屋敷供養塔群	164
宮ヶ浜商家群（中保家住宅主屋・坂本家住宅主屋・龜川菓子店舗兼主屋・丸十金物百貨店店舗・丸十金物百貨店蔵）	165
水迫遺跡	165
震洋の滑走台	165
指宿海軍航空基地跡・魚見岳旧海軍貯水場	166
魚見岳麓防空壕	166
田良岬の戦闘機残骸	166
摺ヶ浜の水際陣地	166
繩状玄武岩	166
指宿橋牟礼川遺跡	167

指宿まるごと博物館  
文化財マップ





# チョイノチョイ

小牧チョイノチョイ踊り保存会



きらびやかな衣装に 弓矢を射るしぐさが美しい



※見どころ※

チョイノチョイは、2人1組で、腰を低くして「チョイノチョイ」と声をかけ合いながら勇敢に踊るところを見てください！



由来・エピソード  
保存会によると、島津氏第17代当主の島津義弘が、天正20年(1592)からの文禄の役と、慶長2年(1597)年からの慶長の役に参戦した際、無事に凱旋した祝いとして踊られたと言われています。

また、昭和3年頃、前之浜地区の踊りを習って踊ったとも言われています。



★おもなごと情報  
三二情報★  
「チョイノチョイ」は、腰を低くしてひざともを高く上げたり、扇と刀を持つ両手を高く上げたり、また、両手を広げながら回る所作が特徴的である。  
特に、弓を引く姿はとても勇ましい。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

踊り保存会  
小牧チョイノチョイ



小牧チョイノチョイ踊り保存会は、指宿市北部に位置する小牧地区に在住している青壮年部や児童を中心活動している。毎年、9月の敬老会披露に向けて、低学年の児童は、先輩の児童や指導者の大人達から手ほどきをしてもらいながら踊り方を覚えていく。練習会場ともなる小牧営農研修センターでは、大きな元気な声で発する「チョイノチョイ！」のかけ声が響いている。演者は、2人1組で踊り、10組前後の踊りが望ましいことだが、少子化のため本番では指導者の大人も含めて踊られている。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



練習は、小牧営農研修センターで行われる。練習のはじまりは、しこと大きな发声練習からだ。指導者が、低学年の児童に手ほどきをしながら継承されている。

8

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



❶ 鉢巻

「つの」と呼ばれ厚紙を両端にはさむ

❷ 着物

シルク

❸ 糸引の着物

シルク

❹ 腰紐

2本使

❺ 帯

左側の踊り手は赤色、右側の踊り手は黄色の面を表に向かって巻く

❻ 前かくし

色鮮やかな絵柄が描かれている



❼ 手甲

手袋

※昔は、草履があったが10年前から使わなくなった

【道具】

❽ 扇子



扇子の2・3本目の骨を抜き、手で握りやすいようにしてある

❾ 刀

太鼓

バチ

【化粧】

鼻筋に白色の線を一本入れる



❿



郷土芸能

チョイノチョイ

9

ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



前踊り

前後2列で踊られる。2人1組で、左側は赤色の帯を、右側は黄色の帯をつける。



- ①右手は腰に、右足を上げながら右側を向き、次に左手を伸ばしながら左側を払う。右手を伸ばしながら正面を向く。これを2回繰り返す。  
 ②背面を向き、両手を広げ、「チョイノチョイ」とかけ声をかけて肩で切り込む。  
 ③右足を上げて正面で片ひざをつき、右手の扇を足先から肩の高さまで上げて、扇を広げる。  
 ④立ち上がり、両手を上げ、正面で弓を引く所作をする。  
 ①～④の基本的な所作を繰り返しながら踊られる。

本踊り

前踊りと同じ前後2列で踊られる。  
左右の人と刀と扇を合わせるシーンが特徴的である。



①前踊りと本踊り(2回)を踊る前に、それぞれ踊りの前に唄われる唄に合わせて、踊り手が両手を上げ扇を広げながら「ヒュー」と大きな掛け声を発する。その後、本踊りが踊られる。

②～④前踊りの①～④と同じ所作が踊られる。

⑤帯が赤色と黄色をした左右の人同士で向かい合い、モモを高く上げて回転しながら、刀と扇をあわせる。

⑥⑦の所作を繰りながら半時計周りをし、左右入れ替わる。

⑧赤色の帯の人が刀を弓に見立てて矢を射る所作をし、黄色の帯の人が扇を受け止める。

⑨⑩の所作を入れ替わる。

⑪左手の扇を広げ、顔につける。これらの所作は繰り返して踊られる。



- 五、本踊り二回目の唄  
物の見事は、吉田の本城か  
東小窓は、切るまいものよ  
山田の牛は、大木を引き出す
- 六、本踊り二回目の唄  
放野の地は、岡の瀬にすむ

- 三、前踊りの唄  
これのお庭は、南天竺よ  
抱きよて寝れば、月が浮え込む
- 二、前踊りの唄  
本踊り二回目の唄  
物の見事は、吉田の本城か  
放野の地は、岡の瀬にすむ

ステップ  
5 どこに行けば見られるの？

- 練習場所／小牧営農研修センター  
9月の敬老会披露に向けて、小学生に指導  
(8月)
- 本番：敬老会／小牧営農研修センター(9月)





# こまきよたけおど 小牧四ッ竹踊り

小牧四ッ竹踊り保存会



手さばき、足さばきにメリハリのある 優雅な踊り



## ※見どころ※

「丹波」で、場つくりの踊りで入場するところです。

「四ッ竹」では、両手に持った四ッ竹を鳴らしながら、左右にこっけいに動き回るところです。



由来・  
エピソード

保存会によると、以前踊ら  
れていた「四ッ竹」踊りを、西  
森ヨシさん(故人)を中心に、  
10数年前に復活させた。



ミニ  
情報



「四ッ竹」は、腰を低くし、  
大きな掛け声を出しながら  
左前、右前と交互に走り出  
したり、胸を張るように腕を  
後方へ伸ばしたりする。まさに、全身運動  
の踊りである。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1 踊り手は？

### 小牧四ツ竹踊り 保存会



小牧四ツ竹踊り保存会は、指宿市北部に位置する小牧地区の在住している青壮年部の方々を中心に活動している。

小牧で生まれた育った人、大人になってから小牧へ転入した人など、16名の人々が継承している。



ステップ  
3 練習風景を見てみよう

練習は、小牧営農研修センターで夜に行われる。

練習は、和やかな雰囲気で楽しく行われ、腕や足の上げ方など細かな所作もみんなで確認される。

激しい踊りの練習も笑いながらだと疲れを忘れるらしい。

ステップ  
2 必要な道具や衣装は？



- 【衣装】  
①鉢巻  
②白色の下着(股引)  
③餅の着物  
④たすき  
⑤腰紐  
2本使う  
⑥帯  
裏表の色が赤色と黄色に染められた帯

- ⑦前かくし  
色鮮やかな絵柄が描かれている  
⑧手甲  
⑨白足袋

- ※昔は、草履があったが10年前から使わなくなった  
【道具】  
⑩四ツ竹  
2個で1組。左右の手に1組ずつ合計4個持つ  
2つの穴には、指にはめやすいように白い輪ゴムがつけられている

# 小牧四ツ竹踊りの唄

【丹波の唄】

一 われは、十七才  
たんば、あくの  
おもおさうでえ  
いぢの娘な

(ハレハイセ コラベスセ サッサ)

二 般のやうあくあ  
御門んじに  
おくおさえてくえ  
うづらがくけるな

(ハレハイセ コラベスセ サッサ)

三 なんどうやうあ  
くけるか  
おくおさえてくえ  
立ち寄り聞けばば

(ハレハイセ コラベスセ サッサ)

四 ごゆもなあくあ  
巻きなある  
おくおさえてくえ  
又世もなるな

(ハレハイセ コラベスセ サッサ)

五 握たようう  
握たよ  
おくおさえてくえ  
踊り子が揃たな

(ハレハイセ コラベスセ サッサ)

三 こけなくつむくな  
張いつなも取るなやうれ  
祝いの お庭やうれ  
つむぎの所 (のんの) さいさい

四 ここのお庭うあ  
黄金さつ 花咲くうれ  
金がなる (のんのん) さいさい

五 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

六 押さげて すいすい  
押さげて すいすい

七 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

八 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

九 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十一 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十二 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十三 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十四 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十五 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十六 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

十七 音頭どる手が  
構のさつ 下でもうお  
音頭どる (のんの) さいさい

ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

「丹波」は「四ツ竹踊り」の場つくりの唄。  
踊りながら1列から2列縦隊を作る。

丹波



「丹波」は、手に何も持たずに「手踊り」のようにして踊られる。  
片手、片足を上げる場合は、必ず上げた指先を見つめる。

四ツ竹



①腰を下ろし、両手に持った四ツ竹を曲と唄に合わせて鳴らしながら踊られる。

②右足を出し四ツ竹を鳴らす。出した足はま先立ち。

③左足を左後方へ下げ四ツ竹を鳴らす。その後右側でも繰り返す。

④左足から3歩走り出すように踏み出し、四ツ竹を鳴らす。その際、「あっちゃめ そらそら」と発する。

⑤④の動きを右側でも繰り返す。その際、「あっちゃめ そらそら」と発する。

⑥正面を向き、四ツ竹を持つ両腕を肩の高さに上げる。

⑦右足を踏み出しながら上半身を前に倒し、右腕を足先へ、その動きを左・右と繰り返す。

⑧「良か良か～」で胸を張るように右足を後方へ下げ、右腕を上げ「さいさい」で四ツ竹を鳴らす。

⑨「押さげて～」で胸を張るように左足を後方へ下げ、左腕を上げ「すいすい」で四ツ竹を鳴らす。

ステップ  
5

どこに行けば見られるの？

練習：場所／小牧営農研修センター

9月の敬老会披露に向けて、練習が行われる。

本番：敬老会／小牧営農研修センター（9月）





江戸時代に今和泉島津家領主へ披露された棒踊り。

地域と学校の連携によって現在まで踊り継がれる。



### ※見どころ※

岩本棒踊りでは2種類の棒が使用されます。三尺棒同士が打ち合う場面や六尺棒に持ち替える場面、棒同士を払いのける場面など激しくペースが早い踊りが特徴です。少し間違えると危ない部分もありますが、その激しさゆえ見る人を魅了します。



江戸時代、第21代島津家当主島津吉貴の子である因應三郎忠郷は体が弱く、療養するために錦江湾を回っていた。忠郷は今和泉を気に入り、島津家の分家領地としてもらい住み、日常の雑事などは漁民・商人ではなく農民を登用した。そのため農民達からの敬愛の念は厚かった。農民達が病弱な領主を慰めるために棒踊りを踊ったことが岩本棒踊りの由来とされており、現代まで踊り伝えられている。



保存会代表  
迫田 登さん

現在、岩本棒踊り保存会の代表を勤めている迫田登さん。唄い手も務めている。

岩本棒踊りの特徴でもある力強い棒の打ち合いやダイナミックな動きに地域全体がほこりを持っているそうだ。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

岩本棒踊り保存会



岩本棒踊りは岩本棒踊り保存会の12人と岩本地区の中学生によって踊られる。今和泉小学校の生徒は3年に一度、岩本棒踊りの講習を受けており、学校ぐるみで踊りが継承されている。

ステップ  
3

練習風景を  
見てみよう



練習は今和泉校区公民館で行われる。大人と子どもが交わりながら練習し、世代を超えて踊りが伝えられている。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



### 【衣装】

- ① 兜飾り
- ② 鉢巻
- ③ 着物
- ④ たすき
- ⑤ だて帯
- ⑥ だて帯を締める紐
- ⑦ 前掛け
- ⑧ 脚絆
- ⑨ 手甲
- ⑩ 定袋
- ⑪ ワラジ

### 【道具】

- ① 三尺棒(子ども用)
- ② 六尺棒(子ども用)
- ③ 六尺棒
- ④ 二尺五寸木刀
- ⑤ 三尺木刀
- ⑥ 太鼓
- ⑦ バチ





岩本棒踊りの唄

オセロセセセエーロボ。ホーリハーハヤーアーハアーハラ  
サーサーアーマーハーメイヘベーハイヨーヨーオー  
ヤーハーヤーレ  
オーハーヤーヘーロマーヤーハーフ  
ハーマーヤーハーディー、ヤーハーヤーモ、ホーホ  
ホーレヒニチーハーマーハーディー、マエヒワ  
ダーダーハーニヨノダーヒダーハーディー、  
ヒーイカバ、ハーハーワーハーディー、イーヒーイ  
ムズメガダーワルミセタ、ハーヤーハ、ハーハツ  
サートオーラル、  
セーテー、セーテー、  
ヤーハーヤーレ  
ムースメーク、  
ヨツラーヨボルホ、ホーリエーナヨヨオーホー、ホー  
ヨツエーテワーハ、  
ヘーヒー、ヘ、ヘーヒオヨーホーヒー、  
ナーハーハーハーハーハーナーハーナーハーハーハ  
ウーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハ  
サーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハ



岩本棒踊りは3番構成である。1番と2番は各組中央の踊り手が六尺棒を持ち、両隣の踊り手が力強く打ち込んできた棒を払いのける。

3番では六尺棒を三尺棒に持ち替えて踊り再開。歌が始まると片ひざを着いて、天を仰ぐような所作をする。3番の特徴は、各組の前列と後列が入れ替わる際に足をあげながら棒を交差させる場面や、各組の中央を向き、首をかしげる所作などがあげられる。また、各組中央の踊り手が両隣・前後の踊り手の打ち合いにもぐりこむなど、ダイナミックな動きが独特である。

ステップ  
5

## どこに行けば見られるの？

- 練習：7月から8月にかけて主に日曜日に行われる
  - 本番：今和泉校区運動会（9月第1日曜日）  
今和泉小学校の運動会（10月第1日曜日）





## ※見どころ※

1番目から3番目まで踊りが格段に速くなります。そのスピード感と棒さばきに注目してください！



この棒踊りは、明治時代から山川福元区で踊られていた郷土芸能であり、一説では、港町であった山川に琉球から伝わったと言われている。一時途絶えていたが、平成6年(1994年)にむらづくり運動の一環として「やまがわ豊祭」を復活させた際に豊祭につきものであった棒踊りも復活された。以後、毎年9月の敬老会、11月のやまがわ豊祭で披露されている。

また、保存会は、年8回山川小学校の3年生から6年生までの児童に、棒踊りの由来や取組みの現状等についての講話と、踊りの指導をする伝承活動を行っており、後継者育成にも力を入れている。

小学生は、学校の運動会、福元区敬老会、町区敬老会、山川みなと祭り等で、棒踊りを披露し、地域の人たちから喜ばれている。



保存会会長の福里宏美さんによると、「青年時代は、150人の中から、選ばれた60人しか選ばれなかつたので、必死になって練習していた。今は、若者にどうにかして保存会に入ってきてくださいとお願ひしている状況だが、踊り自体は変わらず踊り手は、昔も今も福元区を盛り上げるために頑張って踊っている。」とのことである。

保存会会長  
福里 宏美さん

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

### 福元棒踊り保存会



平成7年に結成された「福元棒踊り保存会」は、現在大人45人、中学生6人の51人が、所属している。結成以来、後継者育成と子どもたちに地元の郷土芸能を知ってもらうために、山川小学校に出向いて伝承活動を行っている。会員の年齢層は幅広く、親子で練習に取り組む会員もいる。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



大人の練習は、敬老会、やまがわ豊祭等の本番に向けて福元公民館の庭で行われる。小学生の練習は、6月から9月にかけて授業時間を使って行われ、3年生から6年生の児童だけではなく、担任の先生たちと一緒に練習に参加して踊りを覚えている。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



#### 【大人用衣装】

- ① 鉢巻
- 白地に黒文字で福元棒踊り保存会と書いてある

#### 【着物】

- ② たすき
- 黄、赤、緑の3色

#### 【前掛け】

- ③ 脚絆
- 定袋
- わらじ
- 股引

#### 【大人用道具】

- ④ 三尺棒
- 六尺棒
- 縋

#### 【子ども用衣装】

- ⑤ 鉢巻
- はっぴ

#### 【たすき】

- 黄、赤、緑の3色
- 手甲
- 脚絆
- 靴

#### 【子ども用道具】

- ⑨ 三尺棒
- ⑩ 六尺棒

ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



縄に合わせて大股で入場。前後の踊り手同士下で1回、上で1回打ち合う。6人が列の中央で棒を打ち合った後、三尺棒の4人は片膝をつき、六尺棒の2人は入れ替わる。

六尺棒の2人は、片膝をつき三尺棒の4人の棒を上で受けける。横に並んだ3人は両脇の人を中心の人の棒を打ち、後ろの者は片膝をつき、前の者の棒を受ける。次に前者者が片膝をつき、後ろの者の棒を受ける。



前3人は、前に向かって、後ろ3人は、後ろに向かって棒を打ち合った後、六尺棒の2人は位置を入れ替わる。

以上の動作を1番につき2回繰り返す。唄の速さは、1番より2番、2番より3番が速くなる。

福元棒踊りの唄  
入場：オシロガ山で 前は大川（おおかわ）  
一番、練ん納がれな 二番、姫野のキナは  
三番、糞鳥山は 美金（みがね）花咲く  
退場：妹女が通る 寂れ朝む

ステップ  
5

どこに行けば見られるの？

練習：福元公民館で、敬老会や、やまがわ豊祭、祝い事などの出演に向けた練習が行われる。

本番：敬老会／福元公民館（9月）  
やまがわ豊祭／福元公民館（11月）





# やま がわ すなど ぶし 山川漁り節

福元区天神下婦人会

鰨のまち山川に伝わる 大漁を願う踊り



## ※見どころ※

漁船が大漁を願い漁場を目指していく姿や、威勢よく網を投げる漁師の様子、鰐節を製造する際の骨を切る所作などを、踊りで表現しています。それらの場面を想像しながら、じっくりとご覧ください。

**由来・エピソード**  
不漁の際に祭事をを行い、大漁を祈願して「漁り節」を唄いはやしたという「沖得祭」の故事に由来している。山川漁り節はこの「漁り節」を再編したもので、昭和43年の明治100年記念式典に歌と踊りが披露された。

以来、福元区天神下婦人会では、作詞・作曲と振付を手がけた竹原喬之助(原口源治)氏の弟子に教えを受け、地元の祭りや敬老会で披露している。



作詞・作曲を手がけた竹原喬之助氏は、歌詞にも出てくる「番所丘」に当時あった宿泊施設に泊り込み、そこから

見える山川港や港町の様子、鰐節製造の様子をつぶさに観察し、歌詞や振付に反映させたといふ。

「魚が見える～出港～漁に出る～大漁～魚をさばく(頭を切る)」という振付の意味をきちんと理解して、踊りにメリハリをつけて踊るのが難しいですね。」そう話すのは、福元区天神下婦人会の踊りの責任者を務める西広美さん。娘の美咲さんとともに踊りの伝承に励んでいる。

福元区天神下婦人会  
西 広美さん

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

福元区天神下婦人会



現在、天神下婦人会は12人のメンバーで活動している。踊りは輪踊りのため、参加する人数によって輪の大きさを変えて披露することができる。

この他、踊りにアレンジを加えた形で、地元の山川小学校や山川伝承会、福元寿会、成川長寿会などの団体でも踊り伝えられている。

ステップ  
3

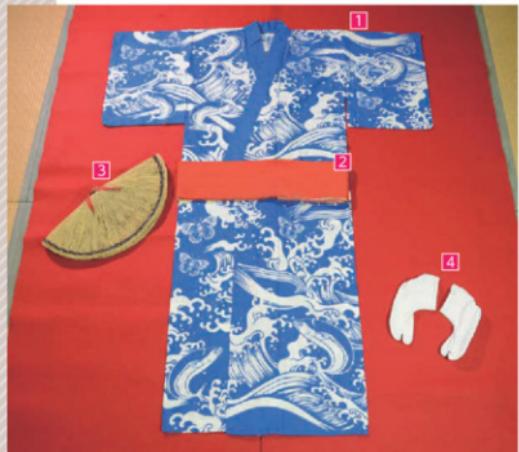
練習風景を  
見てみよう

練習は、福元公民館で行事の開催前に集中して行われる。振付等を手がけた竹原氏の弟子（篠原郁代さん）等が指導にあたる。



ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



① 波模様の着物

波の模様とあわせて、市の魚「カツオ」と市の蝶「ツマベニチョウ」が描かれている

② 帯

③ おけさ笠

④ 足袋



郷土芸能

山川漁り節



# 山川漁り節（山川大漁節）

（竹原義之助詩詞・暴口雅治曲）

## 郷土芸能

## 山川漁り節

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

着物とおけさ笠を身につけ、支度完了！



①入場 舞台上手奥から、漁り節の音楽に合わせて、1列で踊りながら登場。

②中央で円になり、反時計回りに踊る。円の大きさは参加する人数によってさまざま。

③舞台上手奥へ、1列に踊りながら退場。



（ハーフンナコラ～フラー／セ／セコラショ）  
「押せよ八咫鏡で 大漁をかけ」  
（コラシヨ）  
「かもめ舞い飛ぶ ハードカツコを船」  
（コラシヨ）  
「磯の砂子に おもいをよせて」  
（コラシヨ）  
「山が見下す ハード見が水浦」  
（コラシヨ）  
「さつま太陽 兩手に花よ」  
（コラシヨ）  
「風よ吹け」  
（ハード白帆立）  
（コラシヨ）  
「番兎丘から 山川を見れば」  
（コラシヨ）  
「守り堅しや ハード五人番」  
（コラシヨ）  
今もきこゆる ハード大漁唄



鰓を切る様子



漁場を目指す船を表現している

●ステップ  
**5** どこに行けば見られるの？

- 練習：福元公民館で、祭りや敬老会などの出演に向けた練習が行われる。
- 本番：山川みなと祭り／山川港水揚げ場(6月)  
福元菅原神社六月灯／菅原神社(7月25日)  
敬老会／福元公民館(9月)  
福元豊祭り／福元公民館(11月)





# い で ほ う ぼ う お び 井 手 方 棒 踊 り

井手方棒踊り保存会

きそく どくせいの  
郷土芸能

通り保春会  
井手方棒踊り保存会

手さばき、足さばきが特徴的。  
踊り手同士が最も接近して踊られる。



## ※見どころ※

他の地域では見られないナギナタと鎌だけを用いた棒踊りです。

その所作も非常に独特で、ナギナタと鎌を力合させる動きや、太ももを上げたり、腕を曲げたりしながらの踊りに魅了されます。



保存会によると、井手方の棒踊りの開始時期は詳らではないが、明治時代に集落内に三度大きな火事があり、火事による災害予防の祈願と、地域住民と家畜の無病息災を祈念して、アッカドンと馬頭観音に奉納するようになったと言われている。

また、「防火のために棒踊りを奉納すればよい」と旧金峰町(現南さつま市)の平木佐次郎からお教わり、踊るようになったとも言われている。さらに、「昔、田布施の堀木いちじろうと云う人が井手方の若者達に伝授した。」とも言われている(「鹿児島県の民俗調査」)。いわば、「火伏せ」の踊りである。



指宿市内の棒踊りの中で、最も踊り手同士が接近して踊られる。特に、踊りの後半では、足が前後交差しながら踊られるため、ナギナタと鎌の打ち合いがより一層激しく見られる。

棒踊りの本番は、まず、①集落センター内の「アッカドン」の前で披露する。②馬頭観音前で、その後本番の会場で踊られる。そして、③集落センターに戻ると踊り縮めとして前庭で踊られる。よって、踊り手は4ヶ所で踊ることになる。

若い世代の人々が、  
次の世代へつなげてくれればと思う

保存会会長  
川口 武義さん



郷土芸能

井手方棒踊り

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

### 井手方棒踊り 保存会



井手方棒踊り保存会は、指宿市山川成川の井手方集落の住民を中心に活動している。かつては、青年が踊っていたが、現在は集落の男性によって踊られている。

平成2年2月23～25日には、東京銀座ナイトふるさとフェアで披露した実績等もある。



旧山川小学校のリュウガン前での  
披露記念写真(昭和30年頃)

ステップ  
3

練習風景を  
見てみよう



練習は、井手方集落センターで行われる。

練習は、ナギナタと鎌を持つ踊り手が接近しているため、ケガをしないように真剣に細心の注意を払いながら行われる。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



【衣装】

- ① 鉢巻
  - ② ゆかた
  - ③ たすき
- 赤色・黄色・青色の3色

④ 帯

赤色はナギナタ持ち、黄色は鎌持ち

⑤ 帯留め紐

⑥ ゆかた用の留め紐

⑦ 手甲

⑧ 前かけ

⑨ 白足袋

⑩ ワラ草履

⑪ はっぴ

踊り手以外の  
者が着る



たすきの結び方



ナギナタを持つ踊り手(左側)・鎌を持つ踊り手(右手)

郷土芸能

井手方棒踊り

A circular icon with a white border and a red background, containing the number '4' and the Japanese word 'ステップ' (Step) above it.

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

## 【入場】



実棒を持つ者を先頭に、ナギナタと鎌を持つ踊り手が入場する。歩き方は、右手・右足・左手・左足をそれぞれ前に出しながら歩く。初めは、ナギナタと鎌を、それを右肩に担ぐ状態で持っているが、所定の位置につくと、鎌を持ち替り手は、鎌を左手に持ち替え棒の位置におり、右手を大きく振る。ナギナタを持ち替り手は、ナギナタの柄を地面に突きながら、左手を大きく振る。



【1番】

腰を下ろし、歌詞に合わせて「ウォー」と大声を発する。

ナギナタと鎌を持つ踊り手は、それぞれ異なる動きをする。隣同士で、鎌を持つ踊り手が、振り下ろされるナギナタを避け、ナギナタの先端をなでるかのようにしながら払う所作が特徴的である。

また、途中で、左右を入れ替え、さらに、隣同士ではなく、鎌を持つ踊り手から見て、左斜め後ろの者と打ち合う。



- ナギナタを持つ踊り手
  - 鎌を持つ踊り手

12

空席を持つ者を先頭にして、縦2列から横2列へと隊形を変える。

1番と同じように、歌詞に合わせて「ウォー」と発する。また、ナギナタを鎧で受けたり、なでるかのようにしながらナギナタを鎧で払う所作を繰り返す。

さらに、途中でナギナタと鎌を持つ者が立ち位置を入れ替わる。

踊りの最後は、1番と同様に、隣同士の片足が前後交差するほど接し、手のひらを見せながら腕を交互に上げ、「サーサー・サーサー」と発する。

その後、入場と同じように、突棒を先頭に退場する。



整列時  
一番　手に持たぬ　鶴の出世地よりも  
　　山茶花は　黄金花咲く  
　　蝶形変化し  
　　燐ぞが通る　寄せて抱っこめ  
二番  
　　焼け野のキジは　丘の瀬に住む  
　　鍵柄が折れた　三把ほゝいた  
　　逃場時

ステップ  
5

## どこに行けば見られるの？

- 練習場所／井手方集落センターの前庭
  - 本番：敬老会（10月）
    - 井手方集落センター（アッカドン前）→
    - 馬頭観音→本番の会場→井手方集落センター



なり かわ き おど  
成川そば切り踊り  
成川そば切り踊り保存会

さとうじゆういの  
郷土芸能



ユーモラスなやりとりと方言で、  
そば切りの様子を表現した人気の踊り



そば切り踊り保存会  
成川長寿会

時代は不明だが、山川成川の前蔭集落に目の不自由な祈祷師(座頭)がやってきた。村人の平安を祈祷し相談相手にもなっていたこの祈祷師を、人々は親しみをこめ「あからんどん」と呼び、小屋を作てあげたという。保存会によるると320年以上前の12月14日、この小屋は火事になってしまったが、村人たちはそば汁で火を消し止めた。その後、村人たちは再び火災を起こさないようにと、旧暦12月14日を「あからんどんの日」とし、そばを作り、客に振る舞うようになった。そば切り踊りは、このエピソードを後世に伝えるため、考えられたものである。

由来・エピソード

20年前、二代目ケサガメとして、初代ケサガメから語りや振る舞いを引き継いだ代表の堀内力キ子さん。「銭太鼓で地ならしをし、種を蒔き、鎌でそばを刈り取り、巡り棒で実を落とし、臼で引いてそば切りを作るという一連の作業を、ユーモラスに表現するところを見て欲しいですね。」と見どころを語ってくれた。

保存会代表・二代目ケサガメ  
堀内 力キ子さん

見どころ

郷土芸能

成川そば切り踊り

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

保存会  
成川そば切り踊り



平成5年、成川長寿会が中心となり、「そば切り踊り保存会」を結成。さまざまな施設への慰問や行事にボランティア活動の一環として参加している。現在は三昧線7人・唄い手2人(成川三昧線会)、踊り手10人、鐘1人、太鼓1人で活動し、毎回披露の際には、地区的男性も道具運搬の手伝いとして同行している。

ステップ  
3

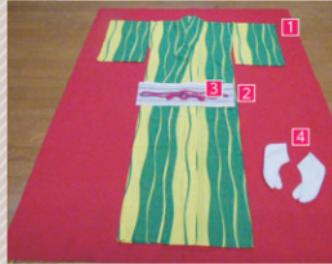
練習風景を見てみよう



練習は披露する機会に合わせ、その都度行われている。  
そば切りを作り、皆でテーブルを囲むことも。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



### 【ケサガメ】

- ① 手ぬぐい
- ② 浴衣
- ③ 前掛
- ④ もんべ
- ⑤ 定袋
- ⑥ 肌襦袢

### 【踊り手】

- ① 手ぬぐい
- ② 浴衣
- ③ 檀
- ④ 帯
- ⑤ 前掛
- ⑥ 手甲
- ⑦ 脚絆
- ⑧ 定袋
- ⑨ 肌襦袢

### 【三昧線】

- ① 着物
- ② 帯
- ③ 帯締め
- ④ 定袋

## 郷土芸能

### 成川そば切り踊り



【ケサガメそば切り道具】



【踊り手道具】



- 1 銭太鼓
- 2 錘
- 3 巡り棒(小・大)

- 1 太鼓
- 2 パチ
- 3 パチ
- 4 三味線
- 5 バチ



【踊り前のナレーション】(一部抜粋)  
いつの頃か、山川成川の前嶺地区に目の不自由な祈祷師(座頭)がやってきて村人の平安を祈禱してくれました。村人たちは相談相手をしてくれた祈祷師のために小屋を作り、親しみをこめて「あからんどん」と呼んでいました。320年以上前の大正12年1月14日、祈祷師の小屋が火事になり、近所の人々は家々からそばのゆで汁を持ち寄って消火にあたりましたが、逃げ遅れた祈祷師はやけどを負い、それがもとで亡くなりました。

その後、村人たちは、再び火災を起こさないようにと、旧暦12月14日を「あからんどんの日」とし、そばを作り、客にふるまうようになりました。

平成5年、2月1日、成川長寿会では、このことを後世に残そうと、「そば切り踊り保存会」を結成し、施設の慰問や色々な行事にボランティア活動の一環として参加しています。

そいじゃみなさん、ぱっぽ、いつもんそか~い!



ハンヤ節に合わせ、踊り手が左右から入場し、前後2列になる。両手の銭太鼓を使って、円を描くように左右に回したり、肩に乗せたりという動作を繰り返す。地面を叩く動作は、地ならしをし、種を蒔く様子を表現している。



一度舞台袖に引き上げ、銭太鼓を鎧に持ち替えて再度入場する。鎧を持ちながら腰をかがめ左右に振るユーモラスな動作は、そばを刈り取る様子を表現している。



成川そば切り踊り



そば切り作りに必要な道具を舞台袖から運び入れる。初めはケサガメが母親に聞きながる一人で料理を行う。その後、舞台袖から母親が登場し、鹿児島弁でユニークなかけあいをしながらそば切り作りを進めていく。ここで話す内容は、大筋決まっているが、ほとんどがケサガメのアドリブである。



そば切りが完成すると、道具を舞台袖へ運び出す。ハンヤ節に合わせ、長・短2本の巡り棒を持った踊り手が左右から登場する。長い棒を短い棒で叩く動作は、そばの実を落とす様子を表現している。



踊り手が三味線演奏者の前に座ると、ケサガメが登場し、三味線に合わせてハンヤ節を踊る。



最後にケサガメも踊り手の中に座り、幕が下りる。



二代目ケサガメを見守る  
初代ケサガメ(写真左奥)

ステップ  
**5** どこに行けば見られるの？

- 練習：成川いこいの家の、披露に合わせ練習している。
  - 本番：長寿会 学習発表会／指宿市老人福祉センター（3月、11月）  
山川地域文化祭／山川文化ホール（11月）  
その他、市内のさまざまな行事に随時  
出演。





# かわ しり ぼう おど かま おど 川尻棒踊り・鎌踊り

川尻棒踊り保存会



開聞岳の麓で踊り継がれている  
活気に溢れた棒踊りと鎌踊り



## ※見どころ※

古くから漁師町として栄えた川尻ならではの、非常にテンポの速い立ち回り、活気に溢れた踊りは、見る人を引き込みます。「棒踊り」と「鎌踊り」、2つの独立した踊りの構成も特徴です。



由来  
エピソード

棒踊りは田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能であり、島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものといわれています。

川尻では、戦時中一時途絶えていたが、終戦後の昭和26年に青年団が復活させ、その後郷土芸能として保存会を結成し受け継がれている。



## 保存継承活動の取組み



昭和45年以降、川尻小学校では、子どもたちが保存会から川尻棒踊りを習い、郷土芸能に親しむ機会を設けている。現在は4~6年生が、保存会や学校の先生の指導を受けて練習し、運動会や敬老会などで披露している。

また、現在保存会には唄い手がいないが、今後テープの音源を元に、生唄を復活させる取組みをはじめそうだ。



保存会会長・指導者  
中村 一秋さん

小学生のときの経験者が、後にまた踊りたいと保存会員になることも多いそう。



## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

### 川尻棒踊り保存会



踊り手は川尻区の出身者や在住者で、30歳代を中心に構成され、踊り手のOBは子どもたちへの指導者となっている。昔は男性のみの踊りであったが、踊り手が足りなくなつたことから、現在では女性も加わるようになった。成人女性が踊り手となる棒踊りは、市内でも川尻のみ。(平成28年度現在)

ステップ  
3

練習風景を  
見てみよう



練習は夜、出演・披露に向けて、川尻ふれあい交流館で行われる。保存会によると、仲良く、和気あいあいと続けてきたいとのこと。子どもの練習は、夏休みや放課後と授業時間で行われ、保存会と小学校の先生が指導する。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？

#### 【大人の衣装】



#### 【子どもの衣装】



1 鉢巻

2 浴衣

大人:白基調  
子ども:色とりどり

3 たすき

大人:紅白／子ども:3色

4 浴衣帯(金魚)

大人:2色／子ども:3色

5 帯

6 白いズボン

7 草履

#### 【六尺棒・三尺棒】※子ども用は少し短く作ってある。

大人は紅白棒(お祝い事のときに踊らることが多いため)。

子どもは六尺棒は紅白、三尺棒は青白のものを使う。

昔は竹で作った棒を使い、中に花吹雪を詰めて、打ち合う際に割っていたそう。



#### 【化粧】

鼻筋に白線を引く



たすきの上に浴衣帯をかける



ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



基本は6人1組

棒踊り



「サッパ サッサ」で六尺棒は地面を突き、三尺棒は腰に構えて右手です。

「ヒンヤサエイエイ」で前後の踊り手同士膝下で打ち合い、次の「ヒンヤサエイエイ」で頭上で打ち合う(①)

「サエイエイ」で回転しながら地面を打ち、次の「サノエイ」で六尺棒を三尺棒が膝下で打つ。

「サノエイ」で六尺棒が棒を回転させながら前に入れ替わり、三尺棒は内側を向いて棒を払う動作をする。(②)

「サノ」で躍て膝をつき棒で地面を打つ。(③)

「ササッササッサ」で三尺棒が両側から振り下ろした棒をしゃがんだ六尺棒が頭上で受け止める。(④)

2回目の振り返し以降は、「ヒンヤサエイエイ」は振り下ろした棒を頭上で受け止め動作になる。(⑤)

4回目の振り返しでは「ササッササッサ」は正面を向いて軽く飛び跳ねて踊り終わる。

鎌踊り



- 棒踊り、鎌踊りとも、六尺棒は立てて地面に突き、三尺棒は腰に構えて、腰を落としながら膝を回す動作ではじまる。
- 披露の際は、棒踊りと鎌踊りを2セットずつ踊ることが多い。



「ヒヤサ エイエイエイエイ」

「サノ サッサッサッサッサ」

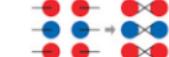
「ヒヤサ エイエイエイエイ」



「ヒヤサ」で棒を振りかぶり、「エイエイエイエイエイ」で前後の踊り手と向かい合って頭上と膝下で打ち合う。



3人1組になり、外側を向き地面を3回打つ。このとき、踊り手は頭を左右に振る。



左右の踊り手が向き合い頭上と膝下で打ち合う。



「サノ サッサッサッサッサ」

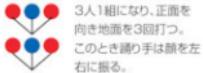


「ホリヤイ ホリヤイ」

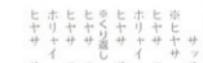


「ヒヤサ サノ サッサッサッサッサ」

「ホリヤイ ホリヤイ」



3人1組になり、正面を向き地面を3回打つ。  
このとき踊り手は頭を左右に振る。



正面を向き、三尺棒はしゃがんで頭を交換する。  
え2回跳び、棒をBの字に払う。六尺棒は立ち、その場で2回跳ぶ。



「かけ声」



「おしろは山で 前は大川」  
の練り返し

※以降

●かけ声  
サノサツサ  
サノエイエイエイ  
サノサツサ  
サノサツサ  
サノサツサ  
サノサツサ

●歌詞  
ヒンヤサエイエイ  
サノエイ  
サノサツサ  
サノサツサ

●歌詞  
「鍬柄が折れた 三把運れた」の練り返し



「鍬柄が折れた 三把運れた」の練り返し



どこに行けば見られるの？

○練習：場所／川尻ふれあい交流館

○本番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館

(9月第1日曜日)

川尻区敬老会

開聞地域文化祭／開聞総合体育館

(11月)等

※子どもは川尻小学校・川尻区合同運動会で披露





# 開聞龍宮太鼓

開聞太鼓保存会

郷土に伝わる神話・伝承を和太鼓で紡ぐ。  
一心不乱に撥を打つ姿が見る者を魅了する。



演奏曲「黎明」



## ※見どころ※

その名のごとく、地元の神話や伝説を題材にした曲を創作し演奏しており、演目の題名に合わせた曲の流れや雰囲気、振り付けが魅力。子どもも大人も一緒にやって演じる、幅広い年齢層でのチームワークにもご注目ください。



由来・  
エピソード

昭和55年、全国的なまちおこしの流れの中で、青年団が「開聞太鼓同好会」として和太鼓を取り組んだのがはじまり。その後、独立した活動を続け、地域に根ざした郷土芸能としての存続と継承を願い、「開聞太鼓保存会」と改称した。現在では「開聞龍宮太鼓」を通称としている。



平成26年 枚聞神社ほぜ祭り前夜祭での奉納



保存会によると、和太鼓の演奏は、胎児が聞く母親の心臓の音に近いと言われているそう。喜んでもらえるような演奏を続けていく、和太鼓の響きが地域の元気づけになるのが願いのことことで、様々な行事等に出演している。

なんと開聞岳の頂上での演奏にも挑戦したことがあるそうだ。



平成元年 開聞岳頂上に太鼓を運んで演奏

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ

2

必要な道具や衣装は？

演奏者は？

### 開聞龍宮太鼓



和気あいあいとした自慢の仲間。会員の年齢層は大人から子どもまで幅広い。代表の川畠光弘さんは、20代で入会し演奏を続けている。子どもたちに太鼓を通して「仲間と一緒にになって人前で発表する経験を通して、大きくなつたときに発表し、自分をアピールする度胸を身につけてほしい」とのこと。演奏者の子どもたちは、「昔からある地域の太鼓を自分も叩くことができてすごいと思う。これからも大事に受け継いでいきたい」と話してくれた。

ステップ

3

練習風景を見てみよう



指導者の坂上次喜さんは、会の発足翌年から携わっている。演奏者には、「音を出していないときも、小さい音のときも仕草で音が伝わる。観られていることを意識する。」ことを特に注意して指導する。学業のため退会した子どもたちが大人になって訪ねてきてくれるのが嬉しいそう。



鳴り物 このほか篠笛を使うこともある。  
撥など、できるものは手作りしている



- ① 長胴太鼓  
左：一尺四寸  
右：一尺八寸
- ② 縄太鼓
- ③ 桶胴太鼓
- ④ 平胴太鼓
- ⑤ 銅鑼

- 【鳴り物】
- ⑥ 竹
- ⑦ チャッパ
- ⑧ チャンチキ



ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

長胴太鼓  
(一尺八寸)



長胴太鼓  
(一尺四寸)



締太鼓



太鼓の配置の基本形。曲や人数によって太鼓の種類や配置を変更する。



## 【主な曲目】

全国に共通する曲のほか、聞間に伝わる龍宮伝説や大宮姫伝説にちなんだ次の曲目がある。

「黎明」「見参」「饗殿（龍宮伝説乙姫太鼓～歓待の宴）」「躍鼓」「黒潮」「道楽夢風来」「天照の扉（岩屋伝説）」「わっしょい（祭り）」等

### 曲目「黎明」

基本形の最後列に銅鑼と平胴大太鼓が加わる。



平胴大太鼓の重厚な音が響く。



かけ声が勇ましい。高い声を出すのが難しいそう。



太鼓を打つ合間に、腕を前や上に突き出したり、ぱちを回したりする振りが入る。



### 曲目「見参」

→基本形最後列の脇に桶胴太鼓が、最前列に鳴り物のチャッパが加わる。



桶胴太鼓と締太鼓は1人で2つを打ち鳴らす。  
チャッパははじめ2人並んで正面を向く。



チャッパは2つを両手にもち打ち合わせて音を出す。



チャッパは舞台の左右から中央に向かって走り、くるっと1回転しながら入れ替わるなど、変化に富む動きをする。



### ステップ 5 どこに行けば見られるの？

練習：場所：開聞山麓ふれあい公園

○本番：開聞夏祭り／開聞山麓ふれあい公園

（8月11日（山の日）予定）

開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館

（9月第1日曜）

枚聞神社ほぜ祭り前夜祭／枚聞神社

（10月14日）

開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

菜の花マラソン・菜の花マーチ応援（1月）





# 入野物袋琉球人踊り

入野物袋琉球人踊り保存会

由来  
エピソード

琉球使節団一行が薩摩に上る際には、山川港に滞在し、枚聞神社に参詣した。琉球から薩摩までの往来の情景を描いた唄にあわせて踊るのが琉球人踊りである。開聞入野地区・物袋地区では、指宿や山川に伝わる琉球人踊りを伝え聞いた人々が、酒の席での踊りとして、見よう見まねで踊ったのがはじまりとされている。本来は「男踊り」と「女踊り」2つ揃っての入野物袋琉球人踊りであったが、現在では「女踊り」のみが残っている。



保存会会長  
永吉 正文さん

## ※見どころ※

独特の手の動きや足さばきがあり、手をきれいに表現できるよう気をつけています。地域の絆を感じさせる「カチカチ」(竹製の鳴り物)の揃った音にも注目です。保存会長の永吉正文さんによると、「四つ竹節」での、並列から円形への流れるような隊列の変化がみどころだそうです。



「男踊り」の復活に向けて

琉球人踊りは「地域の誇り」と話す前保存会長・道地 隆さんによると、「男踊り」は「女踊り」とは全く異なり、琉球風の格好をして面白おかしく踊るものであったそう。現在では男踊りを踊れる方はいなくなってしまった。



「男踊り」「女踊り」が描いた踊りの様子  
(昭和59年4月29日撮影)

保存会によると、「やはり、「男踊り」「女踊り」2つ揃ってこそこの琉球人踊りではないか?」という声が地区であがつたことから、平成27年11月に「男踊り」の立ち上げ会を行ったとのこと。意見は様々あったそうだが、今後も踊りが続いていくことを重視する方向に固まり、入野・物袋の若い男性が作り

手になって、子どもたちが“見えて楽しい、踊ってみたい”と思うような、昔とは変わった新しい踊りをつくる試みが始まっている。

前保存会会長・指導者  
道地 隆さん



上の写真的後、数年間は子どもたちが「男踊り」を踊っていた

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

### ステップ1 踊り手は？

#### 入野物袋琉球人 踊り保存会



入野物袋琉球人踊りは4回ほど途絶えて、復活させて…を繰り返している。昭和57年、県の農村振興運動の一環で「男踊り」と「女踊り」を踊っている。その後、子どもたちの踊りになったが、親御さんやPTAの負担が大きく、数年で廃れてしまった。

平成20年、全国民謡大会が翌年指宿で開催されることが決定、出演依頼があったことから、「男踊り」はできないが、「女踊り」ならばなんとか踊れるとのことで、猛練習した。

平成21年4月1日に開聞総合体育館で披露して復活し、今日に至る。

### ステップ3 練習風景を見てみよう



親子で琉球人踊りに参加している小学6年生の太鼓演奏者。同級生や下級生を誘って歴史をつなげていきたいと話してくれた。



練習は夜、入野公民館で行われる。現在指導者は引退しており、先輩たちの踊りを見ながら練習をする。練習後の楽しいお茶飲みも大切な時間。

### ステップ2 必要な道具や衣装は？



- 【衣装】
- ◎踊り手
- ①つの
- ②浴衣
- ③帯
- ④前掛け
- ⑤たすき
- ⑥足袋



- ◎唄い手
- ①浴衣
- ②帯
- ③足袋



- ◎太鼓演奏者
- ①袴
- ②足袋
- ③草履

※草履は「男踊り」で履いていたもの。以前は太鼓演奏者も履いていたかもしれない



- 【鳴り物】
  - ①太鼓
  - ②カチカチ
- 赤い飾りのついた竹製の道具。親指と中指につけて鳴らす。使用しない曲目では帯にはさむ





# 新西方棒踊り

新西方棒踊り保存会



地区内の年配と若者をひとつにする踊り



## ※見どころ※

六尺棒、三尺棒を持った6人が1組となり、一糸乱れず、また、前後左右に入れ替わりながら、棒を打ち合う勇壮活発な姿を見て頂きたいです。



保存会によると、踊りは他地区と同様、田植え前後の豊作祈願であったらしいが、その後、神社の祭りや諸行事に踊られるようになったものである。往時の大魔津人気質そのままの勇壮活発なもので、六尺棒、三尺棒を持った6人が1組となり、入り乱れて打ち合う。技術的にもなかなか難しい一大劇劇で、服装は義士討入りそのままといったところのこと。



衣装に白色・赤色・青色の3色のたすきをかけているが、激しく踊るとそのたすきも激しく揺れ動く。その様はとても魅力的で、棒踊りの楽しみ方のひとつだ。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1 踊り手は？

### 新西方棒踊り 保存会



新西方棒踊り保存会は、指宿市北部に位置する新西方区在住の青壮年部有志と児童・生徒を中心活動している。

当初は、大人たちが継承してきたが、高齢化・会員減少に伴い、平成14年から地区内の小学生への指導を始め、子ども達とのふれあいを大事にしながら継承に努めている。3年に1回は今和泉小学校の運動会で披露することになっており、現在、踊り手の主役は、小学生・中学生となっているが、青壮年の面々も現役として頑張っている。また、最初教えた子どもたちが20歳代となり、貴重な後継者として非常に楽しみな存在となっている。今後も子どもから大人まで力を合わせ、この「新西方棒踊り」を継承していきたい。

ステップ  
3 練習風景を見てみよう



練習は、新西方中央公民館前の広場で行われる。  
6人1組に分かれ、それぞれに三尺棒、六尺棒の指導者がつき、手ほどきをしながら指導していく。ある程度覚えると、唄にあわせ全体練習を行う。

ステップ  
2 必要な道具や衣装は？



#### 【衣装】

- ① 鉢巻  
白色の長いもの
- ② 耕の着物  
両袖の縁は赤い布で彩られる
- ③ 手甲
- ④ たすき  
赤色・青色・白色を重ねる
- ⑤ 袴  
サムイズ
- ⑥ ゴム底定袋
- ⑦ はっぴ  
唄い手や太鼓を叩く者が着る



長年着てきた耕の着物

#### 【道具】

- ⑧ 太鼓
- ⑨ バチ
- ⑩ 三尺棒
- ⑪ 六尺棒

左側は児童生徒用  
右側は大人用



ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

- 六尺棒を持つ踊り手
- 三尺棒を持つ踊り手

1番



唄に合わせながら、ももを上げ外側へ広げながら歩いて整列する。

前後2列に並び、6人1組で踊る。六尺棒を持つ踊り手は2人で中央に並ぶ。



2番



六尺棒を持つ踊り手は3人で、後列に並ぶ。左手側を向き、前後の踊り手2人1組で棒を打ち合う。正面から見て左側を向いて踊り始められる。



3番



1番と同じ体制で、六尺棒を持つ踊り手は2人で中央に並ぶ。

正面を向き、列両端の三尺棒が六尺棒を打ち、その後、前後入れ替わりながら棒を打ち合う。



4番



六尺棒を持つ踊り手は4人で、前列・後列それぞれの両端に並ぶ。三尺棒を持つ踊り手は、左右の六尺棒の踊り手と組み棒を打ち合う。また、三尺棒を持つ2人は前後入れ替わりながら六尺棒と打ち合う。



新西方棒踊りの唄  
後ろが山で 前は大川  
オセーイロホオワーハ  
チャセーマデー ハイナーナ  
ナレオセロワツハアハ  
ヤツラーヨ・ホー  
ハイノオーフウダーハイヨーダーハー  
ハイイエーイ  
カーダーハー  
ダーダイ  
イーイイイ

山田の牛は 木を引き出す

ヤーマーハダーハーハヤーハ

サウニンエ ヘイヨーナ

ヤツラーヨ・ホー ウシーワ

ホーレナサキニイイ

ハイイオーフウーヒー

ヒキイイイ  
イーイイイ

キオーバ  
ダース

清めの雨は 三度バラチク

キヨーホメーヘーハー

サアーメーウ  
ヤキメーノア  
アメーヘーワ

ヤリラゴ・ホー

ホーレナササーアー

サンンドエー

ハーミー

アーハー

バーハー

ホーリー

ヤーハー

チーク

ステップ  
5

どこに行けば見られるの？

練習：場所／新西方中央公民館

今和泉小学校運動会での披露に向けて、夏休み期間中に小学生(4-5-6年生)へ指導する

本番：今和泉小学校運動会(1回／3年)

新西方区 区民祭(2月)



郷土芸能

士官節

さとうじかんぶし  
郷土芸能

# 士官節

## 士官節保存会

型があるようで型がない士官節、  
踊って楽しい、見て楽しい。

### 見どころ

一見、ひとりひとりの踊りに個性  
があるように見えて、手さばき、足さ  
ばき、腰の落とし方などの基本的な  
部分は見事に揃います。

赤いたすきの使い方にも注意!

由来  
エピソード

保存会によると、日清・日露  
戦争の頃、出兵していく兵士の  
武運長久を祈って、この地区的  
人々が着物姿で太鼓や三昧線  
で伴奏しながら踊ったと伝えられている。

戦後は、新築の棟上やお伊勢講の時など、  
総田西を中心に踊られていたと言う。それが  
途絶えてしまい、平成12年に「士官節保存会」  
が発足した。

三昧線  
情報

ひょっとことおかめの面が描かれた浴衣をしゃれた帯で腰止めし、ゆっ  
たりとした楽しい踊りである。踊り手も笑顔が絶えず、見ている方も自然  
と口元が緩み、体が揺れ始めてしまう。

保存会会長  
山澤 昭夫さん(78歳)

元保存会会長  
伊藤 三男さん(93歳)

74

75

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

### 士官節保存会



「士官節保存会」は、指宿市北部に位置する新西方地区の細田西集落の住民を中心に活動している。当初、細田西集落に在住する人達だけで踊られていたが、後継者が少なくなってきたため、集落を越えて、新西方区内の住民で「士官節」に興味があり、楽しく踊りたい人たちが集まり、踊りの継承が行われている。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



【衣装】

- ① 鉢巻
- ② ゆかた

ひょとことおかめの面が描かれている

- ③ たすき
- 右肩にかけて左腰で結ばれる

- ④ 帯

- ⑤ ぞうり

- ⑥ はづび

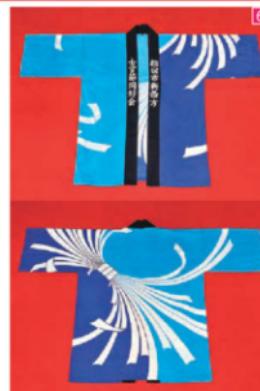
唄い手や太鼓を叩く者が着る

【道具】

- ⑦ 太鼓

- ⑧ バチ

- ⑨ 三昧線







# なかがわ 中川ごちょう踊り

おどり  
中川ごちょう踊り保存会



42年ぶりに復活した 年に一度の奉納の踊り



## ❖見どころ❖

色鮮やかな衣装に着替えた後、先輩に凜々しい表情の化粧をほどこしてもらい、支度が整います。

大小6つの太鼓と、大小6つの鉦が打ち鳴らす千変万化のリズムに合わせ、勇壮に踊る姿は見たえがあります。また、唯一の女形「入れ鼓」の神秘的な舞にも注目してください。



文禄・慶長の役の折、武士の指揮を高めるため、女形1人を含む踊りをしたところ士気が上がったと言い伝えられ、昔から祝事や祭典、雨乞いなどの際に踊られてきたと言われている。

また、江戸時代、参勤交代の大名行列の送り迎えに士気を鼓舞するため踊り始められたという説もある。

踊りは昭和11年頃を最後に一時途絶えていたが、現在指導にあたっている西中川さんの父が手帳に書き記した箇面が見つかったことをきっかけに、かつての踊り手たちが懸命に記憶の糸をたぐり寄せ、昭和53年に42年ぶりの復活を遂げた。それ以来、地域の人々によって大切に継承されている。



鬼神は、見物人の鬼裁いをしたり、場内整理をしたり、入れ鼓に近寄って道化で見せたり、時には跳躍することもある。小さい子どもにとっては、少し恐い存在もある。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

中川ごちょう踊り  
保存会



代表となる公民館長を筆頭に、中川地区の防犯部の男性22人からなる。役割は、親鉦2人、小鉦3人、ショゴ1人、入れ鼓1人、太鼓5人、鬼神5人、旗持ち1人。地区的小学生姉妹が加わることもある。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



中川自治公民館において、1月1日の披露に向け、10月～12月まで毎月8回の練習が行われる。練習の後は、皆で親睦会をするのが恒例となっている。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



- |      |      |        |         |       |
|------|------|--------|---------|-------|
| 【鬼神】 |      | 4 駒あて  | 8 手甲    | 12 毛笠 |
| 1    | 陣羽織  | 5 肌襦袢  | 9 地下足袋  | 13 鬼面 |
| 2    | 耕の着物 | 6 ズボン下 | 10 手ぬぐい | 14 刀  |
| 3    | 帯    | 7 御絆   | 11 扇    |       |



- |     |      |        |         |        |
|-----|------|--------|---------|--------|
| 【証】 |      | 4 耕の着物 | 8 手甲    | 12 親鉦  |
| 1   | 烏帽子  | 5 帯    | 9 肌襦袢   | 13 小鉦  |
| 2   | 耳あて  | 6 駒あて  | 10 たすき  | 14 ショゴ |
| 3   | ハチマキ | 7 狩袴   | 11 地下足袋 | 15 プチ  |

郷土芸能

中川ごちょう踊り

五調踊樂譜

第 1 章 ● 基本概念

卷之三

中川ごちよう踊り



【入れ鼓】	⑤ 带まくら	⑩ 伊達巻
① 振袖着物	⑥ 三重紐	⑪ 肌襦袢
② 帯揚げ	⑦ 帯板	⑫ 裾よけ
③ 帯	⑧ 伊達綱め	⑬ 草履
④ 帯締め	⑨ 腰紐	⑭ 足袋



【太鼓】	5 ズボン下	10 プチ
1 ハチマキ	6 脚絆	11 矢旗(ヤマ)
2 耕の着物	7 手甲	12 のぼり
3 帯	8 地下定袋	
4 肌襦袢	9 太鼓	

বাবুর প্রতি আমি কোনো অভিযোগ নেই। আমি বাবুকে আপনার প্রতি সম্মত করি।

●  
ステップ  
**4**

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



①踊りは、高祖神社への奉納から始まります。

1.ミユキ(入場)～2.ニワイ～3.ツーツ～1.ミユキ(退場)



②1.ミユキに合わせ、公民館へ入場する。



③2.ニワイの曲で、前列に钲、後列に太鼓、周りに鬼神が構える基本形となる。



④3.ツーツの曲に合わせ、踊りながら円をつく  
る。



⑤4.小牧への曲で、踊りながら円を完成させる。



⑥5.下り～6.ススカカ～7.七ツへの曲に合わせて踊る。



⑦8.引ッへの曲で円をとき始め、基本形に戻るまで曲の後半部分を繰り返す。



公民館には、復活当時に作成されたという、手書きの楽譜が掲示されています。元々、14番まで踊られていましたが、現在ではより継承し易いようにと、8番までに短縮され踊られています。

●  
ステップ  
**5**

どこに行けば見られるの？

○練習：10月～12月の間、毎月8回

○本番：毎年1月1日11時～





# 相撲甚句

下吹越相撲甚句保存会

きさく だいひの  
郷土芸能

行司のユニークな紹介と、力士たちの力みなぎる踊り

**下吹越地区保存会**  
**相撲甚句**

下吹越地区保存会



## 見どころ

力士たちが身に着けているまわしには、各力士の四股名が記されており、四股名には指宿市内の名所や特産品が選ばれます。行司による面白おかしい力士紹介も魅力のひとつです。

その一方で力士たちの踊りは非常に力強く、力こぶをみなぎらせて観客を魅了します。

由来・  
エピソード

相撲甚句は昭和の初期より、当地に五穀豊穗を祈願する奉納踊りとして存在していた。終戦直後の指宿神社の浜下下や昭和29年の指宿市誕生の節などの節目で踊りを披露している。踊り手は青年団、婦人部によって連続と踊り継がれている。現在は、下吹越相撲甚句保存会として地区内外の行事等で披露しながら、一致団結して地域を盛り上げ、保存継承活動に取り組んでいる。



現在、下吹越相撲甚句保存会の代表を務めている坂本三好さん。力士の四股名は行司がみずから考えるそうだ。観客をいかに笑わせるかが、行司の腕のみせどころ。

保存会代表  
坂本 三好さん



## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

保存会  
下吹越相撲甚句



相撲甚句は下吹越相撲甚句保存会の26人で構成されている。役割は、踊り手である力士15人、行司1人、太鼓1人、拍子木1人、旗持ち4人だ。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



練習は下吹越公民館で行われる。六月灯や敬老会などのイベントに向けて1~2ヵ月前から練習が始まる。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？



【行司】

- ① 着物
- ② ふきん
- ③ 軍配
- ④ 足袋



【旗持ち】

- ① 豆タオル
- ② はっぴ
- ③ 前掛け
- ④ パンツ
- ⑤ 旗



【拍子木】

- ① 豆タオル
- ② ゆかた
- ③ 拍子木



郷土芸能

相撲甚句

## 相撲甚句の唄

これより下船相撲甚句保存会によります ○場所どり行います

(おー どすこい どすこい)

相撲どえん じゅれはーそ ありめんのまわし

(あー どすこい どすこい)

親わよー ポロ着で さんばーどにたつ

(あー どすこい どすこい)

あー 指宿野食よりも よいかももつたが一生の得じゃが

(あー どすこい どすこい)

船がいよー えんぞう出だー といがいどん知れぬ

(あー どすこい どすこい)

なかのや三人使いが さんほ使どぎ船じや

(あー どすこい どすこい)

二つトイ、トイアツヨウをかくじや

三合の米くべ、小畠の心てやあよい やつちよい

(あー どすこい どすこい)

えらう 「あー どすこい どすこい」

相撲はこれから調子をがえでね。

(あー どすこい どすこい)

正月元日、雪はンヤラフ やラ降り積もる。障子開ければ銀世界

(あー どすこい どすこい)

足の長さは指宿一 金太郎。

絆かな 魚見山。

青々と思い深く 波見の海。

ピンク大好きちょっどエッチな 緋太郎。

心も体も癌の里 砂むしの法。

黄色い純粋 菜の花。

緑結びの島知林ヶ島の友達 小島乃美。

温泉豊かな指宿 港見乃里。

ウニカメも大好き 吹越乃美。

魚が群れをなす 知林乃海。

指宿名産 オフラ山。

京都の料亭から引張りタコの 斎豆の里。

今日も一杯指宿焼酎西の稚鶴 利古衛門。

トリを落めますは東の稚鶴 魚見山。

(あー どすこい どすこい)

あー 上がん船がもいさかる。

船とカメとのはい、えら五葉の松よ

(あー どすこい どすこい)

あー 二のや枝には銀がなる。

下からカメがもいあがる。

(あー どすこい どすこい)

あー 正月三日の初夢に 表の花園にや五葉の松。

(あー どすこい どすこい)

(あー どすこい どすこい)



### [太鼓]

- ① 豆タオル
- ② はっぴ
- ③ パンツ
- ④ 足袋
- ⑤ 太鼓



### [力士]

- ① 豆タオル
- ② 紺
- ③ 化粧まわし
- ④ パンツ



### [力士]

- ① 豆タオル
- ② 紺
- ③ 化粧まわし
- ④ パンツ



**力士紹介の一例**

足の長さは指宿一 金太郎。  
絆かな 魚見山。  
青々と思い深く 波見の海。  
ピンク大好きちょっどエッチな 緋太郎。  
心も体も癌の里 砂むしの法。  
黄色い純粋 菜の花。  
緑結びの島知林ヶ島の友達 小島乃美。  
温泉豊かな指宿 港見乃里。  
ウニカメも大好き 吹越乃美。  
魚が群れをなす 知林乃海。  
指宿名産 オフラ山。

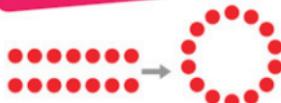
京都の料亭から引張りタコの 斎豆の里。  
今日も一杯指宿焼酎西の稚鶴 利古衛門。  
トリを落めますは東の稚鶴 魚見山。



(あー どすこい どすこい)  
後にや死るは、さんばー女、こじも  
(あー どすこい どすこい)  
これにて ○○場所打ち止まろ  
キー) は力士の四百難

ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



力士紹介は横2列。踊りに入ると、円形になり、内側を向く。



太鼓と拍子木に合わせて行司・旗持ちが入場し、相撲甚句が開催される場所名を読み上げる。



力士が入場し、2列になり腰をおろす。行司のユニークな紹介によって力士は1人ずつ立ち上がる。



太鼓の合図で力士達が円をつくり、曲が流れる。



右足をあげ、両手を水平に広げる。



両手をあげ力こぶをつくりながら、時計回りにゆっくりと足を進める。



両手を左右に振り下ろしながら円の中央に寄り、再び力こぶをつくりながらゆっくりと後退する。



曲が終わると太鼓の合図で正面を向き、1列になり退場する。



力士が退場した後、旗持ちと行司が中央に向かう。行司が打ち止めを宣言し、太鼓と拍子木の合図で退場する。



戦前は上半身裸ではなく、浴衣を着て踊っていた。戦後から昭和にかけては女性も踊り手となつて踊り継がれてきた。現在では30代~60代の踊り手が数多くいるため、継承はうまく進んでいく。将来的には子どもたちにも踊りに参加してもらい、集落全体で保存していく予定だ。

ステップ  
5

どこに行けば見られるの？

- 練習：本番の1~2ヶ月前
- 本番：敬老の日（9月の第3月曜日）  
／下吹越公民館





# おおやまぼうおど 大山棒踊り

大山棒踊り保存会



大人から子どもへ伝えて守る 豊作祈願の棒踊り



由来・  
エピソード

その昔、島津義弘公が文禄・慶長の役の戦勝を祝って踊らせた説や、財政ひっ迫の折、開田のための農民動員をした25代藩主・重豪公が余興として踊らせた説など諸説あるが、農作業の合間のレクリエーションだったと伝えられている。踊りの仕草に地面をたたく動きが多いため、寝ている地の靈をおこして、豊作を願うのだという。

現在の会長らが、昭和49年に25年ぶりに復活させ、今まで踊り続けられている。

※見どころ※

六尺と三尺2種類の棒を、果敢に打ち合う勇壮な姿は必見。

六尺棒2人、三尺棒4人を1組として踊ります。



おこな  
ごと  
情報  
三二  
情報

保存会が活動する大山集落センターの敷地内には、昔の写真や農機具など貴重な資料が収められている「大山郷土資料館」があり、この地域の歴史や文化を知ることができる。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1 踊り手は？

### 保存会 大山棒踊り



大山棒踊り保存会は、唄い手1人、大人の踊り手約30人で構成される。保存会では、踊りの保存・継承のため、地域の中学生約20人に指導を行う活動も続けている。毎年、大山区の六月灯や敬老会などで披露されるのを、地域住民も楽しみにしている。

ステップ  
2 必要な道具や衣装は？

ステップ  
2 必要な道具や衣装は？

【子ども用】



【大人用】



【唄い手】



郷土芸能

大山棒踊り



練習は、大山集落センターで行われ、先に大人が踊って手本となり、中学生を指導している。



ステップ  
4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！

三尺棒を持つ  
踊り手



踊る隊形(3列)に並び、入場する。



唄に合わせ、隣同士勢いよく打ち合う。



六尺棒を持つ③と④は、それぞれ左右の踊り手の棒を上で受け止めた後、前後の場所を入れ替わる。



入れ替わった③と④は、左右の踊り手の棒を手上で受け取る。その後、前後でそれぞれ打ち合い、再び③と④は左右の踊り手の棒を手上で受け止め、前後を入れ替わる。



休息時の唄も含め、4番踊ったら退場する。



大山棒踊りの唄

一、お城が山で 前は大河  
二、青島町は 黄金花吹かり  
三、さよめの雨は 三度ぱらじく  
四、妹柄が折れた 三ばおくれた  
五、妹女が通る 寄て見る  
六、面つづねは 面着がわかったと切腹された  
りする



唄い手の内園光弘さん

ステップ  
5

どこに行けば見られるの？

- 練習：大山集落センターで、祭りや敬老会などの出演に向けた練習が行われる。
- 本番：六月灯／大山集落センター（7月）  
敬老会／大山集落センター（9月）



おお やま りゅう きゅう じん かさ おど  
**大山琉球人傘踊り**  
 大山琉球人傘踊り保存会

きよみぐるみの郷土芸能

27年ぶりに復活を遂げた  
 地域に愛される「ジュグジンオドイ」

鹿児島・沖縄文化交流記念大会



## ※見どころ※

道化役を演じる「ヤンチャ」の特徴的な化粧と滑稽な所作が、観衆の笑いを誘います。



豊かな表情を出すため、丁寧に化粧をほどこす。



由来・  
エピソード

薩摩を訪れていた琉球使節団は山川港を中継地としていたが、その道筋に大山があったため、地域の人々と交流があった。その使節団の様子を歌や踊りにしたもののが教え継がれ、集落の祝い事や、農村慰安会などで披露されてきた。後継者がいないことで一時途絶えていたが、昭和62年、27年ぶりに復活し、現在に至っている。



左は、昭和24年の写真。男性のみで構成されていた。右は昭和35年の「大山公民館落成式」の様子。この頃は女性だけで踊っていた。

昭和62年の復活以降は男女で踊っている。

## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

大山琉球人  
傘踊り保存会



昭和62年の復活以降は男女で踊られるようになり、現在は、大山地区に住む男女15人で構成されている。

ステップ  
3

練習風景を見てみよう



練習は、大山公民館で行事の開催前に集中して行われる。囃子ことばや太鼓・鐘のリズムと、踊り手の動きをぴったり合わせるのが難しい。



ステップ  
2

必要な道具や衣装は？

【踊り手(男性役)】



1 鉢巻(4色)

2 脱衣

3 帯

4 股引

5 テコ

6 伊達帯

7 締紐

8 脚絆

9 足袋

10 草履



【踊り手(女性役)】



【唄い手】



大山琉球人傘踊り

1 紫の布  
2 紺餅  
3 節り帶  
4 紫の帯布  
5 テコ  
6 帯  
7 伊達帯  
8 腰紐  
9 脚絆  
10 定袋  
11 草履

1 着物  
2 長襦袢  
3 帯  
4 締紐  
5 足袋  
6 草履

【ヤンチャ】



【道具】

郷土芸能

大山琉球人傘踊り

# 大山琉球人傘踊りの唄

「ミッガ」（道楽・途中・道間の意味ではないかといわれる）

①物見事は那賀の町  
赤い物売り煙草売り（ハイヤフ）

②白い物売り豆腐売り  
黒い物売り紺地売り（ハイヤフ）

③物の品々売り私うて  
てらやはだまで親子兄弟（ハイヤフ）

④遠れて別れる旅の衆  
神と神とのすそ風（ハイヤフ）

⑤那賀の川口に出る旅の衆  
せくしわんのん伏し拵み（ハイヤフ）

いかりまき上げ帆をひきて  
船のども解く時は（ハイヤフ）

⑥そこでうく露おし私うて  
二度と帰らぬ那賀の町（ハイヤフ）

⑦鳥がみならぶ三つが島（ハイヤフ）

⑧那賀を出でてから今二日  
七度七島後になす（ハイヤフ）

⑨風邪をまどて半未  
雲かさみんが浮島か（ハイヤフ）

⑩あれに見えるは屋久永良部  
煙絶えずの硫黄ヶ島（ハイヤフ）

⑪沖のんだんにないのれは  
徒多のお岡立てなら（ハイヤフ）

⑫西阿佐がすよよよ  
もはや山川ないねれば（ハイヤフ）

⑬番所あらためはよすんだ  
もはや山川まりり出る（ハイヤフ）

⑭海港すいのはまたらおかげ  
知林小島を後になす（ハイヤフ）

⑮海賊はみまごろ萩島  
もはや鹿児島なよやの決（ハイヤフ）

⑯時舞や舞の広さようづ  
頭の長さを調整する。（⑮～⑯番まで頭うつが多い）

## 2 「かれよし」

①かれよしの船に漁よし乗せて（アベ アベ アベアアベアベ）  
山も見えぬどなかも見えぬ

お針がそうをさす（アーラー キッチャメガヤンセ）  
②鹿児島のやかたは心温いやかた（アベ アベ アベアアベア）  
おさかづきたまたまた

琉球で語る（アーラー キッチャメガヤンセ）

## 3 「いつの間に」

いつの間に来たかよ この鹿児島に（ア一 キッチャメガヤンセ）  
「ミッガ」（道楽・途中・道間の意味ではないかといわれる）

1の頭に戻る。  
お祭り舞台のせいでよつて、頭の長さを調整する。（⑮～⑯番まで頭うつが多い）

（一）は踊り手の合いの歌。

## 4

「ミッガ」（道楽・途中・道間の意味ではないかといわれる）

## 5 どこに行けば見られるの？

- 練習：大山集落センターで、祭りや敬老会などの出演に向けた練習が行われる。
- 本番：六月灯／大山集落センター（7月）  
敬老会／大山集落センター（9月）



## ステップ4

さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



①進行方向2列に並び、歌詞1の唄に合わせ、3～4回同じ踊りを繰り返す。



②道具を置き、歌詞2の唄に合わせ、ユーモラスな動きと掛け声で踊る。2回ほど繰り返す。



③円の中を、ヤンチャが自由に踊り回る。(歌詞3)



④進行方向2列に並び、歌詞4の唄に合わせ、3～4回同じ踊りを繰り返す。



# 小川区棒踊り

小川区棒踊り保存会



明治38年から踊り継がれる 勇壮闊達な棒踊り



## ※見どころ※



この棒踊りは、明治38年露戦争の祝勝の時、今和泉池田区大迫兵衛氏の指導により始まったと、当時の青年団の書類に残されている。

その後、一時途絶えていたが、昭和38年に小川区柔道スポーツ少年団の結成を機に復活された。

昭和56年に小川区棒踊り保存会が結成され、それ以来、子どもに指導することで踊りを受け継ぎ今日に至っている。

小川区でお祝いがある度に踊られてきた小川区棒踊り。敬老会で子どもたちは、練習を重ねた棒踊りを披露する。観客は、自分たちが踊っていた頃を思い出し熱心に見入る。子どもたちも「昔からやってていることを自分たちもやっていることが、かっこいい」と誇らしげに踊っている。



## 歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ  
1

踊り手は？

### 小川区棒踊り保存会



小川区棒踊り保存会は、昭和56年に結成され、現在、会長は区長が務めている。毎年、原則3年生以上の中学生が、7月から練習を始め9月の小川区敬老会で披露している。

ステップ  
3

練習風景を  
見てみよう



練習は、小川区集落センターで行われ、保存会の会員が、小学生を指導している。「棒の先を見ながら踊ると相手に怪我をさせることがない」など、安全面に気をつけた指導が、行われている。上級生は、指導者から教わったことを下級生に伝えながら練習を進めていく。

ステップ  
2

必要な道具や衣装は？

### 【衣装】

- ① 鉢巻 白い鉢巻
- ② 着物
- ③ たすき 緑、紺、赤の3色
- ④ 帯
- ⑤ 手甲 フル手
- ⑥ 脚絆
- ⑦ 定袋 黒
- ⑧ わらじ 黒い足袋を履いてからわらじを履きます

### 【道具】

- ⑨ 三尺棒 両端の踊り手が持ちます
- ⑩ 六尺棒 中央の踊り手が持ちます
- ⑪ 帶



## 小川区棒踊りの唄

(入場)  
うしろは山でまえは大川

オセエロオオオオワハヤハヤ  
サヤマデエスカマアヤアヤレ  
オセロワヤハヤマアヤマアヤア  
ナレワヨホホホホホホマアヤア  
マエエーイノオヨオヨオダーダー

アラソイゾイ、ダアアアアアア  
ダイイイイ、イイイイガアアアア  
サツササツサ

(地図)  
きりしまつは二がねはななぐく

キリイシニイイイマハマハマ  
サマアツワエエイヨヨオホナレ  
キリシマママアマアマツヨウウウ  
ナソレワヨホホホホスカウウウ  
コガネノエイエイオヘノオヨオハ  
アラソイゾイハナアアアナアアアサアス

サツササツサ

(退場)

かまんえがおれた三バおくれた  
カマンエヘエガサオオオ  
サオオレダエエイイヨオサタアヤレ  
カマンエガオオオオレエダヤナレワヨホ  
ホネガサアアアサンエエ  
エイエーイヘノヨオオオトホ  
アラソイゾイオオオオ  
オグウウウウエエテ  
サツササツサ

ヤマアタアアロオガハ  
サガアニワエエイヨオナヤアヤレ  
ヤマタガアガガニイイワヤソレワヨオホ  
ホネガサカアアアアアアカワノセ  
エイエーイヘノヨオオセエエエエ  
セニイイニイイイスマツウ  
サツササツサ

やけののキジはおかのせにすむ

ヤゲノオオノオキイイイ  
サキイズワエエイイヨオナヤアヤレ  
ナゾレワヨホホホホスカウウ  
オカノセエイエーイヘオヨオセ  
エエエセニイイイイスマツウ  
サツササツサ

ステップ  
**4** さあ、いよいよ本番！  
一緒に楽しみましょう！



踊る体系(3列)に並び、入場する。①、②、③、⑥が三尺棒を持つ者、③、④が六尺棒を持つ者。



唄と地面を突く間に合わせ、六尺棒を持つ者は、棒を地面に付けたまま、三尺棒を持つ者は、左腰に刀を差すように持つ。右手は、腰に当て体をゆすってリズムをとる。



左右の組で下と上で棒を打ち合い、六尺棒を持つ③と④は、それぞれ前後の踊り手の棒を上で受け止めた後、左右の場所を入れ替わる。前2人と六尺棒の1人、後ろ2人と六尺棒の1人が、下で棒を打ち合う。



六尺棒を持つ踊り手は、めまぐるしく位置を入れ替わりながら繰り返す。



唄に合わせて、入場した方へ退場。

ステップ  
**5**

どこに行けば見られるの？

- 練習：小川区集落センターで、敬老会や祝い事、祭りなどの出典に向けた練習が行われる。
- 本番：敬老会／小川区集落センター（9月）





# 亥の日の石突き

片野田公民館



石の発見を機に復活!

子どもたちが神の使いとなり、豊作に感謝する行事



由来  
エピソード

いつから始まったかは定かではないが、以前は旧暦の10月最初の亥の日に、その年に収穫した新米で餅をついていた。これには、神仏に供えて豊作を感謝するという説と、収穫後の土地を突き鎮める神事であったとする説がある。亥の日の言い伝えとしては、猪が多産であることから、子孫繁栄を願う意味があったとされている。

また、石突きは土の中のモグラやケラ、ネズミ等の害虫を追い払うためとも言われている。いずれにしても、子どもたちが、神の使いとしての聖なる役目を担っていたと考えられる。

片野田 健一さん(唄い手)

行事をはじめる前に、害虫の絵を見せながら、子どもたちに由来を説明する。



※見どころ※

稲刈りの季節を終え、山に帰る神々に感謝し、五穀豊穣を祈る行事。

楕円形の石に縄をくくりつけ放射状に伸ばし、唄に合わせ縄を引き上げ、引き下ろすことで、石と地面に埋めた石とを突き合せます。さらに、円形に編んだ籠に子どもを乗せて石を突きます。非常に珍しい伝統行事です。



↑上地区的三叉路



「亥の日の石突き」の復活

片野田では、かつては各世帯で餅つきをし、上地区と下地区的二手に分かれ、上地区では道路の三叉路の中央に石を埋めて、



↑下地区的片野田氏神社

下地区では片野田氏神社の境内で、それぞれ石突きを行っていた。やがて、子どもが少なくなったことや農家が減ったことから、昭和35年頃に行事は途絶えてしまった。

しかし19年前、上地区的三叉路沿いの竹林に住宅を建てる際、石突きに使っていた楕円形の石が発見されたことから、経験者の記憶を頼りに行事を復活させた。現在では、片野田公民館を会場に、地区全体の行事となっている。

## ステップ 1

### だれが守り伝えているの？

亥の日の行事は、片野田公民館を中心に子どもたち、PTA、敬老会、婦人部の方々などが、大人から子どもまで大勢集まつて行われる。

年配の方々の力でムラの子どもたちを育てていき、「亥の日の石突き」を、皆で集まって楽しむ行事として伝えていきたいとのこと。

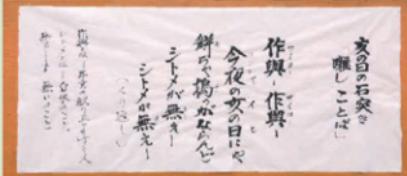


### 他の地域でも復活！福元区の「亥の日」



山川地域福元区では、戦前まで「亥の日の石突き」が各集落で行われていたが、戦後は次第に消滅。1集落で細々とつないできたものを、平成28年11月23日に、区全体の行事として復活させた。福元区には、片野田地区とは異なる亥の日の唄が伝わっている。

唄は「木曾川の治水工事で財政困難に陥った薩摩藩は年貢米の取立てが厳しく、亥の日がきたのに「亥の子餅」をつく米が無い」という内容。



## ステップ 2

### 必要な道具は？



横円形の石。これに針金を巻き、縄が放射状に結ばれる。重さは11.2kg。



カンネンカズラを円状に編んだ籠。この上に子どもたちが乗る。

## ステップ 3

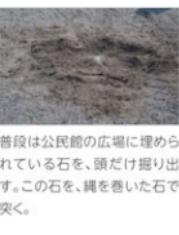
### 準備風景を見てみよう



朝9時ごろから約10kgのもち米を炊き、石臼を使って餅をつく。大人たちが材料を持ち寄り、子どもたちも一緒に調理する。

男の子たちは、うちわを手にもち、火力調整のお手伝い。餅つきの仕方を教えてもらい、大人と交替で杵をもつ。女の子たちは女性たちに教えてもらながら餅を丸めていく。こうして出来上がった餅を皆で集まって食べるが、三世代交流の場となっている。

餅を食べ終わると、子どもたちが唄に合わせて石突きをする。



普段は公民館の広場に埋められている石を、頭だけ掘り出す。この石を、縄を巻いた石で突く。

ステップ  
4

いよいよ始まるよ～



①円陣を作り、唄に合わせて放射状に結んだ繩を皆で同時に引き上げると、横円形の石が高く上る。



②縄を引き下ろすことで、横円形の石で地面に埋めた石を突く。①と②を唄が終わるまで繰り返す。



③次に、カンカンカズラで編んだ円状の籠に子どもが座り、石突きと同様に唄に合わせて縄を引き、籠を高く上げる。



④籠を下ろし、子どもが乗った籠で石をつく(石の上にはシートと毛布を敷く)。③と④を繰り返す。



ステップ  
5 どこに行けば見られるの？

○開催日：11月第2日曜日  
○場 所：片野田公民館



伝統行事  
亥の日の唄

イーピ モーブ カンター ダイカ  
ウシミチ ドンドン カメスルガ ネドコイハ  
ヒガシマクラノ タナムシタ コジヤロカイ  
コエガデントキナ ウンマングソナブレ  
(意味)  
寅の日に餅を焼く人のは誰だろうか  
後ろの道にいるどん  
カズルが運営は何処だらうか  
東枕の櫻の下  
声が出ないどきには馬の糞をなめよ



# イシナト

イシナト保存会（尾掛地区子ども会）



一年の幸運と健康を祈る伝統行事



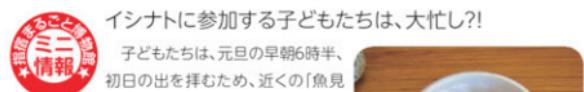
## ❖見どころ❖

動いているダイダイやボンタンを射るのはとても難しく、見事命中すると、拍手と歓声が湧き上ります。



イシナトは尾掛地区に伝わる伝統行事で、子どもたちは、「イシナト、イシナト、何じゃ無か、飛べヨ」のかけ声に合わせ、転がるダイダイやボンタンを目がけて一斉に矢を放つ。「何じゃ無か、飛べヨ」というのは、「心配せずに飛べよ」ということである。「イシナト」そのものの意味は分かっていない。

もともとはその年の吉凶を占う行事などが、子どもたちの遊びに変化したものといわれており、1月1日～7日までの適当な日に地域の子どもたちが竹の弓矢を持って集まり、弓での射て、射当てた者にはミカンが与えられていたそうだ。現在は、1月1日に子ども会の行事の一つとして行われている。



## イシナトに参加する子どもたちは、大忙し!?

子どもたちは、元旦の早朝6時半、初日の出を拝むため、近くの「魚見岳」の頂上を目指し出発する。下山した後、イシナトの行事を終えると、前日から保護者が仕込みをしていた豚汁で体を温める。その後さらに書き初めを行い、文字の上達を祈願する。そうして新たな1年がスタートするのだ。



ステップ  
1

だれが守り伝えているの？

イシナト保存会



当日は、尾掛地区の子どもたちと保護者が中心となって行事を行う。年末に行う竹切りの作業は、昔から行事に携わる地域の方々が子どもたちに指導しながら、進められる。

ステップ  
2

必要な道具は？



[ダイダイ・ポンタン]



[竹で作った弓と矢]

弓にはたこ糸がピンと張ってある。



足元の目印も切り出してきた竹を使用している。

ステップ  
3

準備風景を見てみよう

[竹を取ろう]

竹林から、弓の材料と射る場所の目印となる太く大きな竹を切り出す。  
細い竹は、矢に使われる。



[弓と矢を作ろう]

竹を適当な太さに割ってしならせ、弓を作る。両端の弓はずには、たこ糸をかけるための切り込みを入れる。  
矢は、細い竹を適当な長さに切り、先端を尖らせ、矢はずには、弓の弦がかかりやすいように切り込みが入れられる。



ステップ  
4

いよいよ始まるよ～



海沿いの尾掛地区からは、きれいな初日の出を拝むことができる。子どもたちが下山したら、そろそろイシナトの時間だ。

さあ、準備は万端!  
皆、真剣な表情で弓を構える。



ポンタン目がけて一斉に矢を放つ。  
近くで射やすいように見えるが、簡単には命中しない。



今でも行事に携わる中崎一夫さんによると、昭和30年頃、中学2年生当時は、子どもたちのいる世帯を1軒ずつ回り寄付をお願いし、田之畠地区や垂門地区にミカンを買いに行っていたという。その頃は男の子だけの行事で、東西2つの地区に分かれ、50mほどある堀沿いの溝に小学生と中学生が並び、ミカンを転がし、矢で射すことができたミカンは、もらえたそうだ。余ったミカンは、頂いた寄付金に応じてそれぞれ分け与えていた。

中崎さんは、「当時地区には120人ほどの子どもがいた。今では少なくなってしまったが、こうして引き継がれていることが嬉しい。」と語ってくれた。



見事、射ることができ、満面の笑みでポーズ。射ったポンタンは持ち帰ることができる。



会場となる尾掛生活改善センター内には、これまでの写真が飾られている。

ステップ  
5

どこに行けば  
見られるの?

- 開催日：毎年1月1日8時頃～
- 場所：尾掛生活改善センター





# ダセチツ

利永区



かつて、各集落で行われていた「嫁女祝」。

現在、利永区の子ども達しか継承していない  
貴重な伝統行事!



庭に残るダセッポーで突かれた穴

## 見どころ

子ども達がダセッポーを両手に持ち、新婚家庭の子孫繁栄を祝う祝い言葉を大きな声で叫びながら、リズムに合わせて地面を勢いよく突く姿が愛おしい。

また、お礼のお菓子をもらった時の子ども達の笑顔が微笑ましい。



由来・  
エピソード

利永区の「ダセチツ」は、指宿市内で唯一、  
継承されている「嫁女祝」で、利永区でしかみ  
られない貴重な伝統行事。

1月14日に、前年に嫁を迎えた家に子ども  
達が「ダセッポー」を持って祝福に訪れる。

かつては、市内の各集落で行われ、ハラムウチ、ハラ  
メユウ、嫁女祝、ダセッ、ダセッポーウチ、ボソレ、カセガチなどと呼ばれていた。

また、「ダセチツ」に行く前や帰り際、または翌朝に、自分の家の屋敷内のある実のなる木をダセッ  
ポーで叩く「ナラナレ」と言われる伝統行事が行われていましたが、現在は途絶えてしまった。



「ダセチツ」で唱えられる祝い言葉

ダーセン ケボボ、ケボボガ ツキナッテ、  
シッタラベガ ポロボロ、

ハナヨメジハ イッドニドハッズンナ

【ツキ:上、シッタラベ:ウラジロ、ハッズンナ:出でいくな】

この祝い言葉は各集落で異なり、「ハラメ ハラメ~」と  
新妻の懐妊を祝う言葉が含まれることもある。

民俗学者の小野重郎氏らがまとめた「薩南民俗」第6号には、かつて指宿市内の各集落で行われていた「嫁女祝」の名  
称や使われる棒の名前、さらに棒の材料や模様のつけ方、祝い言葉などがまとめられ、  
各集落の差異が明らかにされている。ぜひ参照してみて。



## ステップ 1

### だれが守り伝えているの？

「ダセチツ」は、利永区の児童たちを中心に継承している。小学校6年生が頭となり、下級生を先導する。

昔は、男の子だけの行事であったが、現在は女の子も参加している。

祝い言葉には、諺語が含まれており、戦後間もない頃に参加した女の子たちは顔を染めながら恥ずかしそうにしていたとのこと。

利永区に住んでいない新婚家庭の場合でも、夫婦どちらかの利永区の実家の庭先でダセチツが行われている。

かつて行われていた集落

- ◎指宿地区: 小牧・宮ヶ渕・田之畠・中川・永嶺・道上・水迫・石嶺・池崎・大迫・仮屋・新永吉・下門・田良・上吹越・尾掛・十町・南・木之下・玉利・高之原・片野田・中小路など
- ◎山川地区: 利永・尾下・鰐など
- ◎開聞地区: 仙田など



## ステップ 2

### 必要な道具は？

#### ダセッポー

子どもたちの父親または祖父が、カシの木を材料に作られる。1人に1本ずつ作られ、ダセッポーには氏名・作った年月日が黒文字で書かれている。

また、「だせ」または「ダセッポー」の字が書かれることもある。

ダセッポーの先端は、地面を突きやすいうように斜めに切られている。

棒の上下または片方に、たすき模様が付けられている。

普段、ダセッポーは、自宅の床の間に立てかけて、大事に保管されている。

「ダセッポー」は、市内の各集落によって、ハラメンポー、ハラメウチポー、ハラメッソ、ハナノソリ、ハラモソッ、イッスンポーナレナレとも呼ばれていた。



## ステップ 3

### ダセチツを見よう



- ①新婚家庭に向かう子どもたちの行列。
- ②それぞれの新婚家庭によって異なるが、昔からの伝統で、座敷で頭の6年生にごちそうを振る舞う場合もある。



- ③子どもたちは、新婚家庭の庭先で円陣のように並ぶ。祝い言葉に合わせて、ダセッポーを地面に勢いよく突き刺す。

- ④ダセチツが終わると、お礼のお菓子をもらって次の新婚家庭へと向かう。多い時は数軒回るため、お礼は大きな袋いっぱいとなり、それを背負う子どもたちの姿が微笑ましい。



## ステップ 4

### どこに行けば会えるの？

- ◎本 番：ダセチツ(1月14日夕方)

- ◎場 所：利永区内の新婚家庭の庭先





# メンドン

利永区



## 見どころ

「メンドン」が行われる日は、利永区の集落全体が独特な雰囲気に包まれます。

県内の伝行事の中でもめずらしい行事、集落内外から参加者や見学者が道端に集まります。

参加する場合は、伊勢講の祠を乗せたオドド(神輿)にお賽銭を入れ、頭を下げながら、オドドの下をくぐると、そこには、メンドンが！

メンドンから顔にヘグロをつけられてからオドドメシ(白飯)を頂きましょう！

一年間無病息災でいられるらしいですよ。

昔、疟疾などの疫病が流行り、地区的代表が伊勢神宮に参り、そこでお糞をもらひ帰ってきた。伊勢神宮の神様の化身となったのが、「メンドン」である。

従来、毎年1月16日であったが、平日開催では参加者が少ないので、平成20年から1月の第3日曜日に行うようになった。



「メンドン」では、真っ黒のヘグロをつけた大根を手にしたメンドンに集落の住民が追いかかれ、逃げ惑う人々の歓声でにぎわう。特に、児童は親に抱きついて大泣きし、園児や児童は真剣に走って逃げ回る。

これを「ワッペイ(ワヤク参り)」ともいう。ワヤクとは「いたずら」・「無茶」などの意味である。

伝行事

メンドン

## ステップ 1

### だれが守り伝えているの？

「メンドン」は、利永区の住民によって守り伝えられている。

戦前は、利永に6組の伊勢講があり、それぞれのオドナオイ(神宿移り)の途中にメンドンが出ていた。戦後は、6組の講をひとつにまとめ、利永神社で神事を行った後、集落内を巡回して神社に帰る形となり、その途中でメンドンができるようになった。



## ステップ 2

### 必要な道具は？

- 1 利永神社の本殿内にある祠
- 2 伊勢講の神祠(6組分が奉納)
- 3 オドド(神舆)
- 4 太鼓
- 5 爺
- 6 かなづち
- 7 大根
- 8 手に持ちやすい長さや太さに切り、先端をやや尖らせる
- 9 ヘグロ(鍋蓋スヌス)付けた大根
- 10 オドメシ(白飯)
- 11 お椀に山盛り一杯の白飯を盛る。オドの下をくぐった人たちに箸を使ってそのまま分けをする
- 12 お神酒

## ステップ 3

### メンドンの行列

メンドンは、利永神社での神事後、伊勢講の祠をオドドに東せて集落内を廻り回る。



## ステップ 4

### どこに行けば会えるの？

- ◎ 本 番：メンドン(1月第3日曜日)
- ◎ 場 所：利永区内
- ◎ 祭 事：利永神社





# 十五夜綱引き

大山区



大山区民をつなぐ伝統の大綱



十五夜綱引きは、旧暦8月15日に鹿児島の各地で行われていた。

大山区の十五夜行事の始まりは定かではないが、昭和50年、17年ぶりに復活し、それ以来毎年開催され、相撲大会と綱引きが1年ごとに交互に行われている。

由来  
エピソード



※見どころ※

直径20センチ以上、長さが  
数十メートルにも及ぶ大綱をかく作業は見ごたえがあります。

大山老友会と大山消防分団を中心、皆で力を込め、息を合わせて一気に練り上げます。



昔は旧暦8月1日から、数え年の  
15歳になる二セの子どもたちが、  
子ども組(数え年7~14歳くらい)

を率いて、力やカシラ取  
りに山へ入り、十五夜の準備を行っていたという。  
現在は子ども会で、綱引きの手伝いや、参加者へ  
配るお茶や昼食の準備を行っている。



伝統行事

十五夜綱引き

ステップ  
1

だれが守り伝えているの？



写真は、カンネンカズラ取りを行う集落長と大山郷土研究会の皆さん。この他、小中学校PTA、子ども会、大山老友会、大山消防分団、大山婦人会等、多くの団体が行事に携わっている。

ステップ  
2

必要な道具は？



【カンネンカズラ】

山から切り出したばかりのカンネンカズラ。

[カヤ]

地域の皆さんが持ち寄ったカヤ。行事の前には大山神社の敷地内にあるフェンスに、たくさんのカヤがかけられる。



ステップ  
3

準備風景を見てみよう



本番前日、会場となる大山神社の敷地内では、集落長と専門の業者によって、綱をかける大きなやぐらが組まれる。右写真は、完成したやぐらに綱がかけられている様子。

ステップ  
4

## いよいよ始まるよ～

十五夜の行事に合わせて、集落長が集まり、大山神社で豊年祭を行う。この年は台風被害で大山神社境内が使用できなかつたため、桜井神社で行われた。



子ども達は大人の指導を受けながら、大綱のもとになる細い綱「カナ」を1本1本作り上げていく。材料は、区民が持ち寄ったカヤとワラ。



カンネンカズラの芯にカナを巻きつけ、大綱を練り上げていく。



午後4時、子どもや保護者約50~60名が、出来上がった綱を引いて地区内を練り歩く。(西村→平原→追→春→田上→上出)



午後6時、大山神社境内に戻り、約100名が参加し綱引きがスタート!

1時間に亘り、男性 対 女性、上集落(上出、西村、平原) 対 下集落(追、春、田上)などの熱戦が繰り広げられる。地区の運動会で行われたこともある。

ステップ  
5

## どこに行けば見られるの？

- 開催日：9月第4週日曜日
- 場 所：大山集落センター、大山神社、大山区内





ステップ  
1

## だれが守り伝えているの？

## 成川神舞保存会



成川区に住む、さまざまな年代の男女からなる保存会。楽15人(笛9人、太鼓6人)、舞41人と、そのメンバーを支える多くの関係者で活動している。

ステップ  
2

## 練習風景を見てみよう



練習は、本番の約2ヵ月前から成川区民センターで行われる。最初は、舞手と楽それぞれで練習を重ね、約1ヵ月前には楽合せといって、舞と楽を合わせた練習が始まる。神舞は3年に1度しか行われないため、経験者であっても、2ヵ月間集中して練習し、舞を身につける。また、後輩への指導にも力を入れている。

ステップ  
3

## 準備風景を見てみよう



本番前日、神事を行った後、大きなデフ松を切り出し会場へ運ぶ。

神舞斎場は、鑿を敷き詰め前庭と、周囲に注連縄を巡らす。北方にデフ松(大奉松)と呼ばれる松を立て、デフ松の下に御輿を置いて神座とし、松、ユズノキ等の緑樹を植え込んでヤマを作る。デフ松の向かい側南方に赤い鳥居を立て、舞手の入口とし、鳥居から控室まで花道でつなぐ。

ステップ  
4

## いよいよ始まるよ～

1日目

## 【神社での発輿祭】



南方神社での発輿祭を行い、境内で「メダシ(舞い出し)」として、内侍舞(ネイメ)、キンナンタマ、長刀、ミッキジンの四つが舞われ、御輿が神社を出発する。御輿を担ぐのは、厄年の男性となっている。

## 【つゆはらい衣装・グレ回りの様子】



グレ回りの先頭は「つゆはらい」が務める。



「グレ」とは、祓いと祈願の神事であり、事前に申込のあった氏子区域の家や施設を2日間に分けて回る。祓いを必要とする新築の家その他、室内安全や商売繁盛、無病息災を願いたいという氏子のさまざま理由で行われている。訪れた家の中では、御輿を前に神主が祭詞の奏上を始めると共に女の子が名前を舞い、家の外では、男の子2人がキンセンタマ、次に男性1人の長刀、そして4人の鬼人によってミッキシングが舞われる。その後、神主は、家人や家中の人、玄関等を祓い清める。

## 2日目

### 【神舞奉納前の儀式】



2日目の「グレ回り」の後、神舞斎場へ到着するのは夕方。ここで、「メコン(無い込み)」として「メダシ」と同じ四つの舞が行われ、「グレ」が終了する。

《神舞奉納までの流れ》

祓い【修祓】

神降ろし【降神の儀】…天神地祇八百万の神々を八張に請願し、デフ松を代依とする。

幣帛(ミテグラ)上げ【献額の儀】…成川の産物が神々に捧げられる。

祈願詞奏上…斎主が祈願と感謝の祝詞を奏上する。

玉串奉奠

区長祭文…成川区長による祭文奏上。神舞の始まりを告げる。

### 【神舞で使用する楽・楽の衣装】



1 白衣

2 獣衣

3 白袴

4 鳥帽子

5 足袋

6 草履

7 腰紐

8 ズボン

9 太鼓

10 棒

11 箫



【太鼓】

【笛】

舞および神事には、笛や太鼓を演奏する者がおり、南方神社の楽は、伶人により伝承されてきた。楽に使用されるのは、太鼓(一般的な宮太鼓)と笛(手作りの6穴の横笛)で、現在伝えられているのは以下のとおり。

出昇(デジョウ)、ドッヂュス、鬼神の楽、田ノ神、踏女(カヅメ)、サカメン)、踏劍(フツルツ)、大剣、扇拍子(オッピヨス)、鹿の子走り(カノコバシイ)、帯立、フッキイ。

## 【神舞奉納】～14の舞と衣装・道具～



【1. 内侍舞（ネイメ）】



- |      |         |
|------|---------|
| 1 冠  | 6 耕袴    |
| 2 頭巾 | 7 腰紐(白) |
| 3 紺  | 8 腰紐(赤) |
| 4 白衣 | 9 足袋    |
| 5 狩衣 | 10 神楽鉦  |



7歳前後の女の子1人が鉦を持ち、左右に回って舞う。地元では舞を「ネイメ」、舞手を「ネイノコ」といっている。古い神社明細帳にも「内侍舞」と記されている。



【2. キンネットマ】



【ヅチ】



【刀】



- |         |          |
|---------|----------|
| 1 毛頭    | 7 腰紐     |
| 2 鉢巻    | 8 足袋     |
| 3 たすき   | 9 草履     |
| 4 紙垂    | 10 プチ    |
| 5 浴衣    | 11 刀     |
| 6 たっつけ袴 | 「裁付け」のこと |



7歳前後の男の子2人が、剣と棒を持って舞う。舞の意味は不明だが、語感が動物の狐を連想させることから、「きつね玉」や「狐玉」と表記されたことがある。1人は剣を、1人は棒を持ち、右手を回し突き出して、左右に回って舞う。最後は剣を持った男の子が残り、飛びながら左右に切り祓う。



### 【3. 祝子舞(ホイメ)】



4人が狩衣と烏帽子姿で、鈴と扇を持って舞う。本来は、面訪社に奉仕する「祝子部(ホイ)」が舞うものであったことから、表記については「祝子舞」が正式である。誤用の「奉仕舞」から「ホイメ」と呼ばれている。

#### [祭文]

樂 ドツデユス

大鼓〇 今月のよき日選いて、供へたい、七重の供へ神きこしめし七重の供へ神闘召しめしや

大鼓〇 千早振るここには高天原なれば、集ひたまへ、四方の神々

〇 やー、宵のまではやの風こそ、やんかのやー吹き来たり、神風ならばヤー、しなやかに。

舞になる 樂 扇柏子。一回背負って、一往復ですわる。

祭文〇 今月のよき日を。(以下大鼓と同じ)

大鼓〇 ゆるむとも、よもやのきしの、かなめんし、鹿島の神も、やし、あらんかぎり

〇 たてやなぎ、とこたちたまへ、たてばこと姿もよけれ、舞はしようらん

舞になる 鹿子走り、鈴を置き扇舞になつたら、楽はドツデユス

鈴を持って楽、田之神にて一回、往復して終わり



### 【4. 田の神(タノカン)】



舞手は笠をかぶり、田ノ神の面を付けて右手に鈴、左手に御幣、腰にめしげを刺して舞う。ユーモラスなしぐさが観衆を笑わせる。

#### [祭文]

(1)祭文楽 田之神

春田つゝ、夏早苗取る頃より、秋の夕を守る田ノ神天神代に十萬丁の御田あり。伊豆の神の作り初めし御田なり。この田の一つの水口より、満田の末の末までも、守りなされる御田之神、されば其の方丁の米なれば、其の長さが一尺八寸、プラブララブ……

此の種の米なれば、粒の太さが一寸八分、四ロ、コロ、コロ……

此の米を飯にかしげば、青人草の命をつぐ、酒に造れば、いづみとおきて、不老不死の藥となる。腕につけば祝の「かち」となる。是をよくめし、青人草薙の日にて署かず、冬の夜も署かず、此の田ノ神の皮膚の如く、赤ら、赤ら色もよし。糸を知らすか青人草、十萬丁を始めとして、一丁田の水口まで、ゆわゆわして、薪す春の朝より、ぬるむ秋の夕までと、守る神なれば、今日の大幸を、しりめなめを引きまし、大幸の柱を立て、宮殿を飾り天照大神を始めとし、日本国中三千餘座、天神、地主、八百万神を謹じ奉り、宵も過ぎ夜半も過ぎる宿までも御田之神を謹ぜんは、國人の人の命をつく、田地のものをすれまたか、それは兎もあれ角もあれ、天照大神の勤を受け、御田を守る我なれば、五穀豊穣の舞を舞おうよ、神楽男あらば宿びの神樂を謹せ舞を舞おうよ。

#### (2)祭文

又此戲がいは、如何なるものかと思ふらん。子孫繁昌子安の木を、一丈二寸にいそゞて(体現)中を切れて、作つたり。又此のかけみは俺が揮つて庭だごろに、ひようしてうつづ、と云多かによく、説うたり、説う盛り、こうもりとあるを、ひようしてうつづよう。

又此の振がい(元)に盛つたものを、振ふつてこそ、ぞ、わいの葉となるは(を)しらんか、われ又若い気色で舞を舞おう。



## 【5. 踏剣(フンツルッ)】

男子3人の舞。両側の男の子が剣と鉾を持ち、真ん中の男の子が長縄細い棒2本と鉾を持つ。真ん中の男の子と遊んであげる様子を示したものとされる。真ん中の男の子が戯いの所作をし、2人が互いの剣を握って揺らして回る。そして踏剣の名通り、真ん中の男の子が2人の置いた剣を踏んで舞う。



[ブチ]



- 1 半襦袢
- 2 鉾巻
- 3 毛頭
- 4 浴衣
- 5 たっつけ袴
- 6 たすき
- 7 腰紐
- 8 定袋
- 9 鉾(手鉾杖)
- 10 ブチ

[刀]



- 1 半襦袢
- 2 鉾巻
- 3 毛頭
- 4 浴衣
- 5 たっつけ袴
- 6 たすき
- 7 腰紐
- 8 定袋
- 9 鉾(手鉾杖)
- 10 ブチ
- 11 刀



## 【6. 小神子(コミコ)】



千早に緋袴の少女が、左手に御幣、右手に鉾を持ち左右に舞う。明治期には男性が女面を付けて舞った記録がある。

### 【祭文】

(出端の神歌)入場し、舞う位置に来て、両手を下げたまま歌う。

青和南 を草の枝に折りかざし 歌へば開く天の岩かど

何々法者の声として 小神子を召され候は 何の仔細によって召され候ぞや

何々 岩戸を折れとやな 再拝再拝歌白

ここに高御産業日命の御子思兼命と申す神 おもんばかりの悟り有りて白さく  
かの神のみかたを顕し 造り奉りておき奉らんと すなわち石ごそえを以て工なし  
天の香具山の金を以て日矛を造らん

また まなかの皮をうつはぎにはぎ 天のはぶきを作り招き祈り給へども  
まだ神明の御納愛も見へ給はず候間 重山を召し祈らばやと存候



## 【7. 地割(ジワイ)】



狩衣と鳥帽子姿の4人が左手に弓、右手に鈴、腰に矢を差して登場し、ゆっくりとした楽に合わせて舞い清める。途中で鈴を置き、弓と矢を持って舞う。

### 【祭文】

- 夫れよろいとは、一ば昔は三角一面のものにてありしどき、神宮皇后賀國退治の元年八月の夜にてありしどき御身によろいらんによつて、わきたてと云ふことを添へ、今は四角上等の御よろいとは申すなり。
- 〇はつはるの、よさ目に真足の、ちりとりて、今こそまに、させながりのじ。
- 〇夫れ神にありし天のはやと申奉るは、天のひほうなり、弓はさうなり、矢は直なり、さうちよくのひをもつて人にさづけ、車前にたいてして相戦ふ時は、三たびその名を呼ばわてみるときは、一つとして当らずと云

- うことなし、されどここにてかしこき納むるをしじゆうとなり、又あめはかに、荒振る神に向ふ時、結はいし弓ははつこうの弓なり、されどかのひほの弓をもって地割矢をさとときは、五方より入り来る 災害を払ひしりぞき、すなはちしんめいおろごうの靈地となることうたがいなし
- 弾弓造り下ろして、つるかけて 長く宝と祝いそめけん
  - 弾弓、造り下ろして、つるかけて 我が氏人の、悪魔払はん
  - たちもその道風になびかん神はよに、あらあじもの



## 【8. 矢抜鬼神(ヤヌッ)】



舞手は、赤・青・白・黄の鬼神面を付けた4人。同色の毛頭をかぶり、日の丸の扇子を持つ。順番に鬼神が現れて舞い、祭文の神歌を言った後、舞って四隅に控える。次に全員が争うような舞をし、黄鬼神だけが残り祭文を述べて舞い清める。

グレ回りでも行うが、その隙には「ミックキン」と呼び、やや早い動きで舞う。また、「メダシ(舞い出し)」や「メコン(舞い込み)」の隙にもゆっくりとした動きで舞う。

### 【祭文】

- 青 神々の、天の逆旗振る時は 亂れし鬼もかなはざりけり(ん)  
赤 日日本の國のおごりと尋ねる  
白 谷は八つ嶺は九つ、鬼の住家は、あらざのの里  
黄 天之戸を、押開けたの、雲間より(い) 神代の月の、かけずのこえ

○かげせとい、年あらたまと、山うごかず、かがすの山はせいある山か、せいなばく、山守りすて、我か山にせん





【9. 長刀(ナンナタ)】



- 1 毛頭  
2 鉢巻  
3 浴衣  
4 たつけ袴  
5 たさき  
6 紙垂  
7 腰紐  
8 足袋  
9 鈴(手鐸杖)  
10 懐紙  
11 長刀

舞手はゆっくりとした楽に合わせて白い布を持って舞う。〔オンメ〕、帯舞のことだと推測される)舞の途中でタスキの輪を作り、体を後転させて返り、起き上がったときにタスキをかけた状態になる。タスキをかけたたら背中にナカトイの紙垂を付け、長刀を持ちながら、時にはゆっくり、時には激しく舞う。前半は静かな舞、後半は激しい舞となる。

この舞の一部を取り入れた短い舞が、「昼のナンナタ」で、グレ回り、「メダシ(舞い出し)」、「メコン(舞い込み)」の際に舞っている。



【10. 幣立(ヘタテ)】



- 1 鳥帽子  
2 白衣  
3 扇子  
4 御幣  
5 腰紐  
6 足袋  
7 面  
8 扇子  
9 御幣  
10 御幣台

狩衣に鳥帽子姿で御幣と扇子を持ち、体と手を小刻みに振るわせながら回り、御幣を座敷の中央に立てて退場となる。

〔祭文〕

あらんばくらまくす  
青幣、和幣、さかきの枝を、手に持ちて うたえば聞く、天の岩門



【11. 五方鬼神(ゴホウ)】



衣装は黒と同じで面と道具が異なる。

青 東方 谷は八つ、堀は九つ、塔は一つ 鬼の住家は、あらざぎの里  
赤 南方 日之本の、國のおにりを尋ねるに 鉢のしづくや、蘚原の里  
白 西方 桧弓、造りいろして、つるかけで 我氏人の、悪魔払らん  
黒 北方 天之戸を、押開方の雲間より 神代の月のかげすのこえ

黄 中方 出雲路や、八雲諸雲、たづくわせの振らすの剣、罪は切りけん  
(自己名)  
青 謹請東方 青木神重宝 手面帆負乃命  
赤 謹請南方 赤体火神重宝 火具土乃命  
白 謹請西方 白体金神重宝 金山彦乃命  
黒 謹請北方 黒体水神重宝 水波乃流乃命  
黄 謹請中方 黄体土神重宝 大地主乃命



【12. 二本刀(ニホンガンナ)】



長刀の舞と同じように「オンメ」を舞いタスキをかけたら、2本の剣を持って勇士に舞う。刀を垂直に立てたり、正眼に構えたり、振り回したりする所作を繰り返す。

舞の途中で、たすきを結び輪を作る。それを後ろ回りをしながら、たすきがけを完成させるのも見どころのひとつ。



【13. 猿女舞(サカメン)】



- 1 白衣  
2 狩衣(赤)  
3 面袴  
4 腰紐  
5 定袋  
6 面  
7 面用毛頭  
8 面用帶  
9 三段鉦(手錫杖)  
10 扇子

岩戸にこもった天照大神を出現させるため、おもしろおかしく舞ったという天宇受命(あめのうすめのみこと)の舞を表している。左手に扇子を持ち、右手で鉦を振りながら舞う。滑稽な舞ではないが、酔ったような歩きが特徴で、神々が笑い転げたという状況を想像させる。

## 【原文】

トリのほうの声として、天宇受命はこれまで詣じ給ふ、天照大神の岩戸にましますにより、岩戸前を一さし御ん候へ。  
御天地十二代勤請し奉る故、如何となば国津の神等心懃に、而て、天照大神の岩戸に籠り給ふことに六百三十年が間ない、八百万の神が集り給ひて、七日七夜舞神楽をし給ひし時、拂葉を根ごにして、岩戸の前に立て給ふ、第一の枝に水晶の玉を掛け、第二の枝に天の御山の土を取つて、籠を誂へる、一番の籠を紀伊の国乃神宮と祭る、二番の籠を懸ける限り、第三の様に五色の前用を附け奉ること、天照大神も影響はし奉るところなり、不慶が道に詣じ、子丑未辰戌掛けて立て給ふ、是悪魔降伏す、十班割は諸毒七難の厄を払い、内侍所の厄の縛は、己に心の荒神殿を開く、萬法圓掛は神の玉は、榮耀災厄の邪性に触れず、七五三の住連禪、五治散身の極風を飾る。

宝珠のいくのを抜く、どうぞとなる龍の巻には五色三板津の劍をさます、大祝団ごとのまいまいとして、くじやくをふむは声なり、笛はかりうびんの声なし、亂飴の鈴の声には、生死、長夜の脛を醒ます、さればかの鶴の文に曰く以我行神力神社、加持力神愛神通力奉供養に住す、されば此の文を唱へ奉れば、日本六十州の大小の神祇の間に、天照大神も御納受と見え候ほどに、此の所に宮人のましまさば、秘極の神樂を始め候らへ。



【14. 十二人剣(ツツルッ)】



- 1 毛頭  
2 鉢巻  
3 白衣  
4 白袴  
5 腰紐  
6 定袋  
7 たすき



12人の舞手が剣と鉦を持って楽に合わせて入場し、ゆっくり1列で円をつくって舞い、最初は神前に向かって2列横隊になって舞う。その後また円をつくり東、西、南と同じようにし、中央では円陣のまま横隊になったときの所作で舞う。ここで剣だけの舞になる。お互いが剣を持ち、円陣のまま振り上げたり振り下げたりして左側に移動し、途中で剣ぐりの舞をする。

## 【神舞奉納後の儀式】



【大祓】十二人刺が終わると、舞手の円陣の中に観衆が入る。大祓詞が奏上される間、12人が刺を前に立てて回り、神主によって祓いが行われる。



賀場の周囲の紙重が、人々に配られる。

【撤饌】

【昇神】神々にお帰りいたたく儀式。昇神の儀が終わると御輿は神社に帰る。



【神社での還幸祭】南方神社の神々が神社に帰ってきた祭り。少人数で夜間ひっそりと行われる。この還幸祭をもって2日間の長い神事が終わる。

## 【その他神舞で使用する道具など】



デフ松に下げる八張(ヤハリあるいはヤツハリ)



祭文表示板



地域の方々の手作りの昼食



反省会のようす



保存会のはっぴ



保存会のぼり

ステップ  
5

### どこに行けば見られるの？

◎本 番：10月27日・28日に近い土曜日・日曜日  
(土曜日)

8:30~18:30頃 グレ回り1日目  
(成川区一円、その他の地区)  
(日曜日)

8:30~16:30頃 グレ回り2日目  
(成川区一円、その他の地区)

17:30~ 神事(成川保育園 前庭)  
18:00~22:30頃 神舞奉納(成川保育園 前庭)



# 政治

幕末、指宿郷や頸桂郷では歴代薩摩藩主により殖産振興や街道整備等が行われた。これら薩摩藩の近代化を支えた石橋や堀切は、現在もその町並みや水田を見守っている。

**湊川橋**  
西方宮ヶ浜 市指定

湊川橋は、江戸時代に造られた石橋。石を丁寧に加工し、それをアーチ状に組み合わせている。第27代薩摩藩主島津斉興の家老であつた、調所笑左衛門・広蔵が、肥後の石工、岩永三五郎を招いて完成させたものだといふ。

橋干が老朽化のため崩れていたが、平成14年に修理され、現在の姿となった。

**松尾城跡**  
西方6830 市指定

松尾城は、室町時代から江戸時代初頭までの400年間、指宿の政治の中心を担つた城。自然地形を巧みに利用し、それに手を加えながら空堀や土塁を築いて防御を固めている。山城であり、かつ源江河に面した海城である点が特徴だ。最初にこの城を根拠地としたのは、指宿氏の第4代指宿五郎忠村。長・朝に戦乱の舞台となり、後に伴姓頸桂氏の城として整備され、一国一城令で廃城となつた。

**菅山の方柱板碑(仮屋)**  
池田4391 市指定

菅山の方柱板碑は、天文18年(1549)に建立された。碑の正面には直徑5cmの「〇」(円相:えんそう)が彫られ、その中に「心」の字が刻まれている。この「〇」は禅宗で悟りのシンボルとして描かれるもので、心が完全に満たされていることを表している。板碑には、法華経の經典の文字が尊いこと、経典の文字69、300字を一字ごとに1つの石に書き写したことが刻まれている。

**方柱四方梵字**  
十二町2473-1 市指定

十二町中小路の金毘羅神社の鳥居の脇にある板碑の側面には、4人の仏の名前が太い梵字で刻まれている。供養塔の一種であろう。東面:摩利支天 身体を守り戦いに勝つための仏。西面:阿弥陀如来 極楽浄土に導く仏。南面:阿閦如来 元氣のない人をはげます仏。北面:勢至菩薩 知恵を授けてくれる仏。また、この金毘羅神社は、中世の山村「原田城」の推定地の一部でもある。

**木造聖観音立像三体**  
西方久保 市指定

西方久保にある木造聖観音立像三体は、鹿敷設の際、地元の青年たちが隠して守ったもの。それぞれ造られた時期が異なり、右端のものは、平安時代後半に造られた作品といわれ、南面で最古とされる。中央のものは、室町時代の作品。左端のものは、江戸時代の作品と伝えられる。

## 鳥越堀切・決湖碑

開闢仙田1685-10地

市指定

- ①鳥越堀切
- ②決湖碑



安政4年(1857)、島津齊彬は、指宿が水利に乏しく田んぼが少ないとから、池田湖の水を灌漑用水にすることを考案した。池田湖の壁を掘削し開闢の川尻まで新川を新たに造りそこで水を流す計画だ。こうして鳥越堀切工事は始まったが、翌年の齊彬の死と明治維新により工事中断。その後、明治5年に県令大川照良がこの工事を再開、莫大な工事費と作業員11万人余りを費やし、明治9年に完成させた。この工事によって池田湖は初めて流出し、河川と繋がつた。また、水位が約3m低下し、池崎付近が陸地になり「ひよりのたんぼ」と称され、また近くには田の神様が祀られている。決湖碑には、池田湖の工事の経緯が詳しく刻まれている。

## 祈り

末法思想が広がった中世、生存中に作られた板碑には、三十三ヶ所の巡礼や写経など当時の信仰心の深さが刻まれている。仏像をはじめこれら石造物は、現在においても地域の人々によって祈りが捧げられている。

## 長勝院址石造物(快伝銘五輪塔・方柱板碑・石造如来形坐像)

西方宮ヶ浜4764地

市指定

- ①快伝銘五輪塔
- ②方柱板碑
- ③石造如来形坐像



宮ヶ浜には、「長勝院」(ちょうじょういん)という寺に関連する五輪塔と板碑が残っている。五輪塔のある周辺には元々、「長」松院という名前の寺があつたが、慶長14年(1609年)、琉球出兵の際に、島津義弘が息子・家久の戦いの勝利を祈って、長・勝院に名前を変えたと伝えられている。また、板碑は天文14年(1545年)に造られたもので、法名祐貞が宮ヶ浜の民衆(農漁民)に法華経信仰を広めたことなどが記されている。



吉永のモイヤマ  
池田4621 市指定

## 供養

大きな木のある所には、神様が宿ると信じられていて、そうした場所をモイドン(森殿)とかモイヤマ(森山)と呼ぶ地域がある。

吉永のモイヤマはイチガシガ神木、うっそうとしげるイチガシの木はどこなく神秘的だ。モイドンには自然の神祕を大切に思い続けた人々の願いや祈りがさげられている。



入野原石塔群  
開聞十町4754-16 市指定



上仙田東屋敷供養塔群  
開聞仙田1791-3 市指定

## 賑わい

この石塔群は、石塔の造り方や形などから室町時代ごろのものと推定されているが、どれも無銘で誰のものかわからていない。開聞宮由緒古札方帳には、瑞応院より2kmほど西、入野原に小山の塚があると記されている。小四郎は、頸姫家の相続争いで兄九郎と瑞応院の住職であった頸姫を殺し、第7代の頸姫城主となった人物。ただ、現在残っている石塔群が、小四郎や頸姫に関係するものかどうかは不明である。

仙田瓦ヶ尾一帯は、昔、仙田村東屋敷と呼ばれていた。ここには、この地に住んでいた六兵衛(名前は月影井津上廣)が建立したと書かれた六地蔵塔15基、板碑6基、その他1基の供養塔の残骸が残っている。元和8年(1622)に建立された六地蔵塔には、六兵衛が、この世の幸福と権運に往生することを願って、伊勢神宮や熊野権現にお参りしたこと、33カ所を巡礼したことなどが刻まれている。



松原田観音寺跡石塔群  
開聞十町1188 市指定

かつて、指宿は頸姫氏によって治められていた。開聞地区には、頸姫氏が機点を置いた頸姫地区同様、六地蔵塔をはじめ五輪塔等が設置され、地域の祈りの機点となっている。



宮ヶ浜商家群  
(中俣家住宅主屋・坂本家住宅主屋・越川菫子店店舗兼主屋・  
九十金物百貨店店舗・丸十金物百貨店蔵)  
西方4674他 一部国登録

宮ヶ浜の国道226号沿いには、明治時代から大正時代にかけて建てられた風格濃い商家群がある。漆喰塗りの壁や段状になった屋根の造りが特徴的で、当時の姿をよく留めている。これらの建物のうち、「丸十金物百貨店店舗」、「九十金物百貨店蔵」、「中俣家住宅主屋」、「坂本家住宅主屋」、「越川菫子店店舗兼主屋」の5軒は国の登録有形文化財に登録されている。



水迫遺跡  
西方5529他 市指定

## 戦

水迫遺跡は指宿市のほぼ中央、標高126mの尾根上にある。水迫遺跡では、約1万5千年前の石器とともに、竪穴建物跡や石器を作った作業場や道の跡などが発見されている。約1万5千年前の生活痕跡がここまでまとまって見つかった例は日本でも初めて。昭和20年(1945)の終戦から70年以上の歴史を積み重ねながら、現在の私たちに戦争の歴史を語り継いでいる。



震洋の滑走台  
東方尾掛 未指定

第二次世界大戦中、指宿市は薩摩半島最南端という立地状況から、多くの軍閥連携施設が造られた。昭和20年(1945)の終戦から70年以上の歴史を積み重ねながら、現在の私たちに戦争の歴史を語り継いでいる。

指宿海軍航空基地跡・魚見岳・田良ヶ原水場  
東方田良 未指定



戦時中、田良には指宿海軍航空基地が置かれ、絶闘空間にはアメリカ軍による度重なる激しい空襲を受けている。当時の目撃者は「田良航空基地が爆撃を投下された時間は、飛行場の上空に巨大なドウナツ型の大爆風が舞い上がり、地上は砂塵で包まれ火災が発生して兵舎等の施設は全焼した。」と語っている。相次ぐ空襲と悪天候のため夜を跨ぎぬ断續飛行によって百数十人の陣地隊員の尊い命が失われた。難池から指宿市方面を通り、魚見岳へ登までの水路を開いた。深さ2メートル以上の貯水場ものこっている。

魚見岳麓防空壕  
東方田良 未指定



魚見岳の東崖面と南崖面には防空壕が掘られ、現在までに16ヶ所確認されている。その防空壕の奥行きで長いものは、52m、42m、24mのものがある。防空壕のコンクリートの壁面には、工事で用いられた板の木目がくっきりと残されている。また、崖面以外の平坦地には、コンクリートを用いた防空壕が掘られ、その内のひとつは、残存し当時の複雑な造りを今に伝えている。現在、戦没者の慰靈碑が建立され、毎年5月27日(旧海軍記念日)に慰靈祭が行われている。

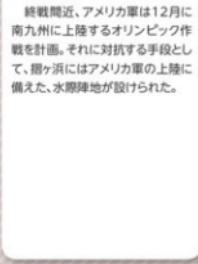
摺ヶ浜の水際陣地  
十二町摺ヶ浜 未指定



終戦間近、アメリカ軍は12月に南九州に上陸するオリンピック作戦を計画。それに対抗する手段として、摺ヶ浜にはアメリカ軍の上陸に備えた、水際陣地が設けられた。

## 火山

「火山銀座」と呼ばれるほど火山の多い指宿。開聞岳の12回の噴火の中で、西暦874年3月25日の噴火では、指宿市内の広い範囲に火山レキや火山灰を積もらせ、その後のムラを埋め尽くした。橋牟礼川遺跡などの災害遺跡の調査成果は、これから起こりうる災害の備えとなる。



166

田良岬の戦闘機残骸  
東方田良 未指定

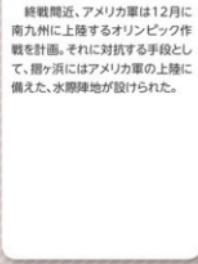


十二町橋牟礼2839番  
未指定



第二次大戦中、指宿の多良浜には海軍航空基地が置かれていた。知林ヶ島と本土をつなぐ砂州には、戦闘機の一部の残骸が埋まっており、潮の干満によってその姿を現す。基地内には、零式観測機一一型、零式水上偵察機一一型、九四式二号水上偵察機、二式飛行艇一二型の飛行機が配置された。

縄状玄武岩  
開聞島・花瀬頃 县指定



166

167

指宿橋牟礼川遺跡  
未指定



①国指定史跡  
指宿橋牟礼川遺跡史跡公園

②西暦874年3月25日の開聞岳の火山灰で埋没した平安時代の墓

③西暦874年3月25日の火山灰で倒壊した平地式建物

④古墳時代の竪穴住居群

⑤古墳時代の土器集中廻集所



橋牟礼川遺跡は、十二町下里にある。大正7・8年に京都帝国大学教授の濱田耕作博士らの発掘によって、開聞岳の火山灰をはさんで上から弥生土器、下から縄文土器が出土することが確認され、日本で初めて縄文土器が弥生土器より古いことが証明された。この成果を受け、大正13年に国指定史跡に指定。その後の調査によって、貞觀16年(874年)3月25日の開聞岳の火山灰で埋没した平安時代の集落も発見され、国内でも貴重な火山災害遺跡として知られている。また、その下層からは、古墳時代の集落跡も発見され、その集落跡からは、竪穴住居をはじめ、土器集中廻集所、貝塚などが確認されている。この国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の北側隣接地はに、指宿市考古博物館・時遊館COCICOはしむれと、遺跡の模型と映像を紹介する歴史劇場が設置され、南九州の歴史、文化をわかりやすく紹介している。

指宿まるごと博物館  
指宿文化遺産図鑑 第3巻  
～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～

---

平成29年3月

編 者 指宿まるごと博物館実行委員会

指宿市考古博物館  
時遊館 COCCO はしむれ  
〒 891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2290  
TEL 0993-23-5100  
<http://www.city.ibusuki.lg.jp/marugoto/>

---

印刷・製本 潤上印刷株式会社  
〒 891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 3-1-6  
TEL 099-268-1002  
落丁・乱丁はお取り替えします。  
許可なく複製、転載することを禁じます。  
© 指宿まるごと博物館実行委員会／時遊館 COCCO はしむれ  
Printed in Japan



平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金  
(文化遺産を活かした地域活性化事業)